



校訓

進取創造

シンシュソウゾウ

新たな価値を創造する能力を身につけ、社会や技術の変化に対応できる自己啓発・向上能力に富み、国際社会で活躍できる実践的技術者の育成を目指すこと

和神養素

ワシンヨウソ

平素から落ち着いて勉学に励み、幅広い工学基礎と豊かな教養を身につけ、一人ひとりが、多様な個性・能力を伸ばし、自主的に学んでいくことができる実践的技術者の育成を目指すこと

友愛協調

ユウアイキョウチョウ

個人としての責任を果たし、個人や社会の多様性を尊重し、お互いに支え合い、社会に参画することができる人材および学際的技術分野で活躍するに十分に優れた協同活動能力をもつ実践的技術者の育成を目指すこと



校訓碑

創立50周年を記念して
平成26年3月6日建立

校歌

竜 英二 作詞／下川 博省 作曲

- 見はるかす 山脈晴れて
いのち澄む 丘のさみどり
みよここに建学の 理想も高く
聳えたつ われらが母校
若き眉 真理めざして
誇りあり われら有明高専
- 流れ寄る 諏訪川清く
たゆみなき 琢磨ささやく
ああここに工業の 技術磨きて
炬と燃ゆる 進取の気魄
若き胸 友愛あつく
抱負あり われら有明高専
- 不知火の 海はかがやき
雲仙に あがる青雲
いざここに大なる 明日を夢みて
鍛えなん 雄飛の力
若き腕 世紀にかざし
栄えあり われら有明高専

校章の由来



「有明海」の古来神秘の火と呼ばれる不知火（しらぬひ）は、旧暦大晦日の夜、当地の四山（よつやま）の丘から望むことができます。校章は、この燃える不知火の炎で「有明」の文字をデザインして、「高専」の文字の両側に配し、師弟の燃える情熱と学校の発展を表わしたものです。

ロゴマーク



デザインは、国立高等専門学校機構「National Institute of Technology」の「NIT」と有明の「A」を配置し、特に「i」は「innovation」、「inspiration」及び「intelligence」など、本校教育目標に関連する用語を想定できるよう意識的に小文字「i」にし、「A」と「i」を組み合わせて一体表示としました。

配色は、スクールカラーのエンジ色を「A」に、キャンパス周辺の里山の緑を「i」に、有明海の青を「N」と「T」にし、有明海に沈みゆく夕日の情景をイメージしました。

目次

概要

校 長 挨拶	1
緒 言	1
治 理 改 革	2
名 誉 教 授	4
組 織	4
教 育 理 念	7
学 習・教育到達目標	8

学 科

創 造 工 学 科	8
環境・エネルギー工学系	12
エネルギーコース 教育課程	14
応用化学コース 教育課程	15
環境生命コース 教育課程	16
人 間・福 祉 工 学 系	17
メカニクスコース 教育課程	20
情報システムコース 教育課程	21
建 築 コー ス 教 育 課 程	22
一 般 教 育 科	23

専攻科

専 攻 科	26
専 攻 科 教 育 課 程	29
「複合生産システム工学」プログラム	31

センター・室

総合情報センター、地域共同テクノセンター	32
サーキットデザイン教育センター	32
グローバル・エデュケーション・センター	33
学生サポートセンター	33
リスク管理室、企画・広報室、教学IR室、入試広報室、図書館運営室、ハラスメント相談室、男女共同参画推進室、有友情報室	34

施設・ネーミングライツ（命名権）

図 書 館	35
総 合 研 究 棟	35
起 業 家 工 房	35
開 発 研 究 棟・共 同 研 究 棟	36
修 己 館	36
学 生 寮	36
ネーミングライツ（命名権）	37

活 動

年 間 行 事	38
学 生 会	38
学 生 会 組 織	38
高 専 体 育 大 会 成 績	39
コ ン テ ス ト 等 成 績	39
教 員 の 研 究 活 動	41
地 域 と の 交 流	42

各種データ

収入・支出決算額、外部資金	44
学 生	45
学 科 別 学 生 定 員・現 員	45
専 攻 科 学 生 定 員・現 員	45
入 学 志 願 者 数・倍 率	46
新 入 生 の 出 身 地	46
徴 収 費 用 一 覧	46
卒 業 生	47
卒 業 生 数、卒 業 者 の 進 路 状 況	47
大 学 編 入 学・高 専 専 攻 科 進 学 状 況	47
大 学 院 進 学 状 況	48
就 職 状 況 一 覧 表	48
施 設	49
校 舎 等 建 物 明 細	49
施 設 配 置 図	50
ア ク セ ス マ ッ プ、連 絡 先	51



校長 大塚 弘文
オオツカ ヒロフミ

炭都と呼ばれた大牟田市・荒尾市を含むこの有明地域に1963年（昭和38年）に国立高専第2期校として開校した有明工業高等専門学校は、これまでに約1万人の実践的高度技術者を輩出してきました。専攻科（生産情報システム工学専攻・応用物質工学専攻・建築学専攻）の設置（平成13年）や、独立行政法人国立高等専門学校機構への移行（平成16年）を経たのち、平成28年には「幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に、創造性・多様性・学際性・国際性に富む実践的な高度技術者の育成をめざす」という教育理念のもと創造工学科1学科2系6コース（環境・エネルギー工学系に、エネルギーコース、応用化学コース、環境生命コース、人間・福祉工学系にメカニクスコース、情報システムコース、建築コースの各3コースを開設）の改組を行い現在に至っています。高度経済成長期から時代は変遷し、現代ではエネルギー問題や地球温暖化、少子高齢化など複数の社会課題に直面しています。いずれの課題も、より良い解決

策を見出すことが困難な問題が複合した複雑な課題ばかりですが、仮想空間と現実空間を高度に融合させるデータサイエンス・AI・IoT・ロボット技術などの最先端技術のさらなる進化とそれらの実装化技術の発展が課題解決に向けての重要なカギとなっています。技術革新（イノベーション）を基盤とした経済発展と社会課題解決の両立を図ることで持続可能な「人間中心の超スマート社会」（Society5.0）を実現していくには、広い視野と様々な角度から物事を捉えて課題の本質を見定め、サイエンスやテクノロジーを駆使して未来社会を創成し支えることができる人財育成が不可欠です。有明高専では、地域共同テクノセンターを中心とした産官学連携による社会実装型教育や共同研究、そしてグローバルエデュケーションセンターを中心とした海外教育機関との連携による国際性涵養のための国際教育プロジェクトなどに注力しつつ、専門分野の実践的な技術、知識、経験のみならず高い教養と見識、また、学際性や国際性を身に付け、柔軟な発想力と創造性に溢れる人財を育成する教育を推進しています。

 緒言

本校は昭和38年に創立された国立の高等教育機関です。平成28年度より、機械工学、電気工学、電子情報工学、物質工学、建築学の5学科を「創造工学科」の1学科に再編しました。本学科は環境・エネルギー工学系（エネルギー、応用化学、環境生命の各コース）と人間・福祉工学系（メカニクス、情報システム、建築の各コース）の2系6コースで構成され、2年生後期から、各コースに分かれます。創造工学科の入学定員は200名で、学生総定員は1,000名です。これまでの卒業生は9,472名にのぼり、各分野において広く社会の期待に応えて活躍しています。

高専教育の特色は、「5年間の一貫教育・基礎学力と実験実習を重んずる教育」による高度な実践的技術者の養成にあります。本校では、専門科目と一般科目を5年間にわたって有機的に配置した教育課程によって、大学工学部卒と同程度の深い専門知識と高い技術力を備えた実践的技術者を育成しています。

また、平成13年度には専攻科（生産情報システム工学専攻、応用物質工学専攻、建築学専攻）を設置し、これまで689名の修了生を輩出し、高度な技術者育成機関として一層の充実を図っています。

本校は大牟田・荒尾の各駅から約5 km離れた萩尾台（福岡県大牟田市）にあり、近くに三池山・小岱山の四季の緑、遠くに有明海を隔てて雲仙・多良岳を望むことができます。寄宿舎は、学校から歩いて5分程度のところにありながら、熊本県荒尾市に属し、校舎と寄宿舎の所在地が福岡、熊本両県に分かれています。

このような恵まれた教育環境の中で、学生が、自主的に自己形成に努めることによって、科学的知見を人間の生活に役立つ「もの」として実体化し、価値を生み出すことに喜びを感じ、技術を通じて人類の繁栄に貢献することに誇りと自負をもち、将来の日本を背負って立つ技術者に育つこと、これが学校の願いです。

昭和38年4月1日	有明工業高等専門学校（機械工学科・電気工学科・工業化学科）が設置され、初代校長に熊本大学工学部長牛尾広恵就任
4月20日	荒尾市増永の仮校舎で開校
10月23日	大牟田市東萩尾の現校地に校舎新営工事を着工
昭和39年3月25日	寄宿舎（若葉棟）竣工
3月31日	一般科目棟・管理棟竣工
昭和40年3月17日	第2期新営工事竣工（電気工学科棟・工業化学科棟・機械工場・寄宿舎青葉棟）
昭和41年3月27日	第3期新営工事竣工（機械工学科棟・体育館・寄宿舎紅葉棟）
4月1日	事務部制を実施し、庶務・会計の2課新設
10月11日	校舎落成式挙行
昭和42年11月15日	武道場竣工
昭和43年4月1日	建築学科増設
9月1日	第2代校長に元熊本大学工学部長誉田敏雄就任
昭和44年3月20日	建築学科棟・寄宿舎銀杏棟竣工
昭和45年4月1日	学生課新設
11月6日	校長誉田敏雄死去、同日付けで校長事務取扱に文部教官大石豊二郎就任
昭和46年1月20日	第3代校長に元熊本大学工学部長轟一郎就任
昭和47年2月25日	図書館棟竣工
昭和48年11月1日	創立10周年記念式典挙行
昭和49年3月30日	電子計算機室が図書館棟3階に竣工
昭和51年3月9日	L.L.（語学演習室）教室が一般科目棟に竣工
昭和52年2月28日	総合実習センター竣工
昭和55年4月1日	第4代校長に九州大学工学部教授吉村虎蔵就任
昭和56年3月17日	第2体育館竣工
昭和57年3月30日	環境開発教育研究施設（現：開発研究棟）竣工
昭和58年3月11日	福利施設（修己館）竣工
10月29日	創立20周年記念式典挙行
昭和61年4月1日	第5代校長に九州大学工学部教授竹村哲男就任
平成元年4月1日	電子情報工学科増設
平成3年3月20日	電子情報工学科棟竣工
平成4年4月2日	第6代校長に元九州大学工学部長高松康生就任
平成5年3月25日	寄宿舎女子棟（桜棟）竣工
11月6日	創立30周年記念式典挙行
平成6年4月1日	工業化学科を物質工学科に改組
平成8年3月22日	物質工学科生物棟竣工
平成9年4月2日	第7代校長に元九州大学工学部長山藤馨就任
9月1日	地域連携推進センター設置
平成11年4月1日	学生相談室設置
平成12年3月15日	一般科目棟改修・合同教育棟・共通専門棟竣工
平成13年4月1日	専攻科（生産情報システム工学専攻・応用物質工学専攻・建築学専攻）設置
4月1日	教育研究技術支援センター設置
9月25日	機械工学科棟・物質工学科棟改修
11月30日	総合実習センター改修
平成14年1月17日	地域共同テクノセンター設置
4月1日	第8代校長に元九州大学工学部長尾崎龍夫就任
9月30日	電気工学科・建築学科・第一体育館改修及び連絡通路（一般教育棟、建築学科棟間）竣工
平成15年3月20日	総合研究棟竣工
4月19日	創立40周年・総合研究棟竣工記念式典挙行
平成16年4月1日	国立学校設置法の廃止及び独立行政法人国立高等専門学校機構法の施行に伴い、有明工業高等専門学校は、独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する国立高等専門学校へ移行

平成17年 6月17日	中国遼寧石油化工大学との国際交流協定締結
平成18年 1月12日	大牟田病院との連携交流協定締結
4月1日	マルチメディアセンター設置
7月1日	進路支援室設置
7月19日	有友情報室設置
平成19年 3月23日	大牟田市教育委員会との連携協力協定締結
4月1日	事務部2課体制移行に伴い、庶務課・会計課を総務課に再編
7月30日	寄宿舍（青葉棟）改修
12月28日	図書館棟改修
平成20年 3月24日	大牟田市との連携協力に関する包括協定書締結
4月2日	第9代校長に元九州大学大学院システム情報科学研究院長立居場光生就任
平成23年 3月9日	荒尾市教育委員会との連携協力協定締結
平成25年 3月14日	男女共同参画支援室設置
4月1日	第10代校長に元独立行政法人大学評価・学位授与機構理事福島健郎就任
11月9日	創立50周年記念式典挙行
12月19日	校訓制定
平成28年 4月1日	機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、物質工学科、建築学科の5学科を創造工学科1学科に改組
	第11代校長に元独立行政法人国立高等専門学校機構研究・産学連携推進室室長 兼 仙台高等専門学校教授 高橋薫就任
平成29年 4月1日	木村情報技術(株)からの寄附により、「人工知能・ビジネス講座（木村情報技術）」が開設
平成30年 4月1日	学生サポートセンター設置
	教育研究技術支援センターを技術部に改組
11月3日	同窓会「有友倶楽部」創立50周年を記念し、正門前に時計塔が寄贈された
平成31年 4月1日	第12代校長に元鈴鹿工業高等専門学校教授江崎尚和就任
令和3年 4月1日	入試広報室設置
令和4年 3月4日	桜棟改築
4月1日	第13代校長に元新居浜工業高等専門学校長八木雅夫就任
	情報処理センターを総合情報センターに改組
	教学IR室、図書館運営室設置
令和5年 3月6日	銀杏棟改修
3月31日	岱明寮食堂棟改築
	岱明寮食堂（多目的）スペースを「あらたば」と命名
4月1日	九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムが開始
4月5日	修己館売店改装
10月31日	後援会から創立60周年を記念し、文化系サークル室が寄贈された
11月16日	文化系サークル室竣工式挙行
令和6年 1月9日	起業家工房開所
3月13日	同窓会「有友倶楽部」から創立60周年を記念し、桜4本（外構整備含む）が寄贈された
3月23日	創立60周年記念植樹式挙行
3月25日	青葉棟と紅葉棟を統一し、紅葉棟として改築
3月26日	学生福利厚生施設に学生サポートルームを整備
4月1日	グローバル・エデュケーション・センター設置
4月6日	有明高専イノベーション・commons開設
令和7年 4月1日	サーキットデザイン教育センター設置
9月29日	サーキットデザイン教育センター開所式及び開所記念シンポジウム挙行
令和8年 4月1日	第14代校長に元熊本高等専門学校校長特別補佐・教授大塚弘文就任

授与年月日	氏名	前職名
平成8年4月18日	中村安生	一般科目教授
平成16年4月15日	吉武紀道	物質工学科教授
平成17年4月14日	田口紘一	機械工学科教授
平成17年4月14日	瀬戸洋	一般科目教授
平成17年4月14日	宮川英明	共通専門教授
平成19年4月19日	新谷肇一	建築学科教授
平成20年4月17日	尾崎龍夫	八代校長
平成20年4月17日	山下巖	一般科目教授
平成20年4月17日	仁田原元	一般科目教授
平成20年4月17日	大山司朗	機械工学科教授
平成22年4月15日	川崎義則	機械工学科教授
平成24年4月19日	荒木眞	一般科目教授
平成24年4月19日	中村俊三郎	電子情報工学科教授
平成25年4月18日	立居場光生	九代校長
平成26年4月17日	塚本邦重	一般科目教授
平成27年4月16日	北岡敏郎	建築学科教授
平成27年4月16日	徳田仁	一般科目教授
平成28年4月21日	福島健郎	十代校長
平成28年4月21日	永守知見	電気工学科教授

授与年月日	氏名	前職名
平成28年4月21日	氷室昭三	物質工学科教授
平成28年4月21日	宮本信明	物質工学科教授
平成29年4月20日	川瀬良一	創造工学科教授
平成30年4月19日	塚本俊介	創造工学科教授
平成30年4月19日	吉田正道	創造工学科教授
平成30年4月19日	上原修一	創造工学科教授
平成30年4月19日	焼山廣志	一般教育科教授
平成31年4月18日	高橋薫	十一代校長
平成31年4月18日	内海通弘	創造工学科教授
令和2年7月16日	泉勝弘	創造工学科教授
令和3年7月15日	中島洋典	一般教育科教授
令和4年7月21日	井上仁志	一般教育科教授
令和4年9月15日	江崎尚和	十二代校長
令和6年7月18日	南明宏	創造工学科教授
令和6年7月18日	松岡高弘	創造工学科教授
令和7年7月17日	菅沼明	創造工学科教授
令和7年7月17日	山口英一	一般教育科教授
令和7年7月17日	村岡良紀	一般教育科教授



組織

定員および現員

区分	教育職員						事務職員 技術職員	合計
	校長	教授	准教授	講師	助教	計		
人員枠	1	37	36	0	0	74	46	120
現員	1	34(1)	17(2)	7(2)	9(3)	68(8)	46(14)	114(22)

※令和8年5月1日現在 ※括弧内の数字は、女性教職数で内数

教員年齢分布

年代	20代	30代	40代	50代	60代	計
人数	1(0)	9(2)	22(2)	28(3)	7(1)	67(8)
割合	1.49%	13.43%	32.83%	41.79%	10.44%	100%

※令和8年5月1日現在 ※括弧内の数字は、女性教員数で内数

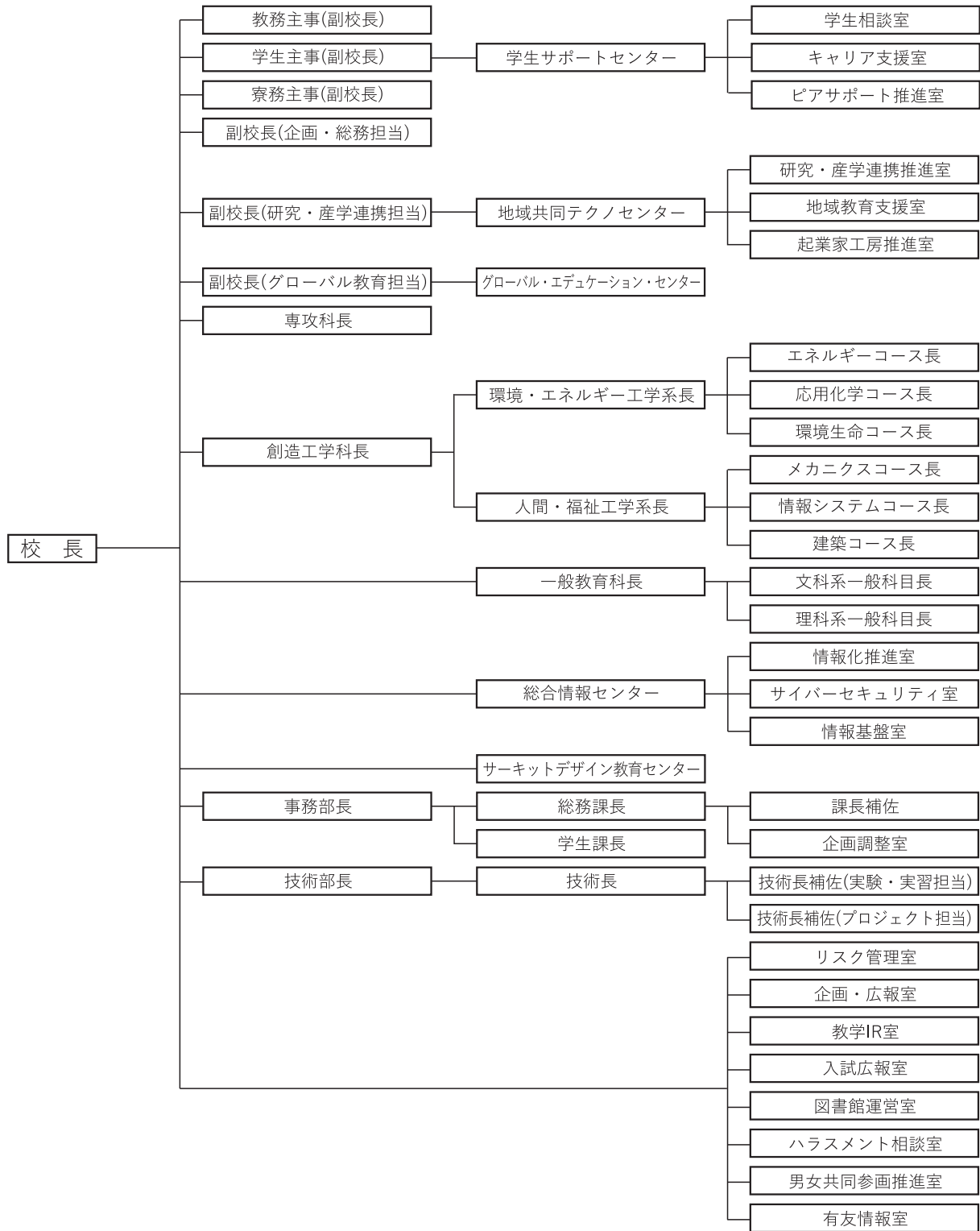
役職者名

教 育 職			事 務 職		
校長	大塚弘文	人間・福祉工学系長	坪根弘明	事務部長	増田徹
リスク管理室長	大塚弘文	人間・福祉工学系長	坪根弘明	総務課長	國宗久資
教務主事(副校長)	河野晋	メカニクスコース長	松野良信	学生課長	江藤直行
学生主事(副校長)	松尾明洋	情報システムコース長	下田誠也	総務課課長補佐	平坂敏克
学生サポートセンター長	松尾明洋	建築コース長	村田和穂		
寮務主事(副校長)	嘉藤学	一般教育科長	村田和穂		
副校長(企画・総務担当)	田中康德	文科系一般科目長	酒井健		
企画・広報室長	田中康德	理科系一般科目長	松野良信		
副校長(研究・産学連携担当)	大河平紀司	総合情報センター長	石川洋平		
地域共同テクノセンター長	大河平紀司	サーキットデザイン教育センター長	田中康德		
副校長(グローバル教育担当)	竹内伯夫	教学IR室長	岩下勉		
グローバル・エデュケーション・センター長	竹内伯夫	入試広報室長	村田和穂		
専攻科長	原武嗣	図書館運営室長	田中康德		
創造工学科長	河野晋	ハラスメント相談室長	嘉藤直子		
環境・エネルギー工学系長	榎本尚也	男女共同参画推進室長	尋木信一		
エネルギーコース長	石丸智士	友情報室長			
応用化学コース長	榎本尚也				
環境生命コース長	榎本尚也				

技 術 職

技術部長	大河平紀司
技術長	松川真也
技術専門職員 (技術長補佐(プロジェクト担当))	池上勝也
技術専門職員 (技術長補佐(実験・実習担当))	萩島真澄

組織図



会議・委員会

運営会議
 企画会議
 教員会議
 顧問教員会議
 安全衛生委員会
 教員選考委員会
 技術部運営委員会
 入学者選抜委員会
 教務委員会

学生委員会
 寮務委員会
 情報公開委員会
 予算委員会
 FD委員会
 知的財産委員会
 自己点検・評価委員会
 情報セキュリティ管理委員会
 情報セキュリティ推進委員会

専攻科委員会
 施設・環境委員会
 遺伝子組換え実験安全委員会
 研究倫理審査委員会
 ハラスメント防止委員会
 防火・防災対策委員会
 いじめ対策委員会
 合理的配慮検討委員会

教育理念

幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に、創造性、多様性、学際性、国際性に富む実践的な高度技術者の育成を目指す



人に優しい、自然と共存できる技術の開発を目指して
諸課題に柔軟に対応できる技術者



本科（1学年から5学年）

（A）豊かな教養と国際性

(A-1) 考察力 地球的視野から物事を多面的に理解できること

(A-2) 倫理観 社会や自然の中での技術の役割を理解し、技術者としての責任を自覚できること

(A-3) コミュニケーション能力 適切かつ円滑に読解・表現ができること

（B）専門知識と学際性

(B-1) 基礎知識 専門分野の基礎となる内容を理解していること

(B-2) 専門知識 専門分野の内容を理解していること

(B-3) 実践力 実験・実習等の内容を理解・実行・考察できること

(B-4) 学際的知識 様々な分野の知識と技術を理解し、複合的に活用するための視野を持っていること

（C）創造性とデザイン能力

(C-1) 課題探究力 自ら課題を発見し、その本質を理解できること

(C-2) 課題解決力 身につけた教養と実践力を活用し、課題を解決できること

専攻科

（A）豊かな教養と国際性

(A-1) 多面的考察力 物事を多面的に考察できること すなわち、自然科学の素養の修得に加えて、人文・社会科学系科目の修得を通して、豊かな教養や国際感覚を身につけ、自分自身を把握するとともに自国・他国の文化を理解し、それらを基に、物事を多面的に考察できること

(A-2) 高い倫理観 技術者としての倫理観を確立できること すなわち、社会系科目や環境関連の科目の修得を通して、一般的な倫理観はもちろんのこと、技術が自然・人間・環境に及ぼす影響を理解し、技術者としての倫理観を身につけ、社会における技術者の責任を自覚できること

(A-3) コミュニケーション能力 日本語および外国語によるコミュニケーションを適切にできること すなわち、発表・討議を伴う科目の修得を通して、日本語による記述・口頭発表・討議を、相手に理解できるように論理的かつ的確にできること、また、語学系科目の修得により、日常生活に必要なレベルの英語等の外国語を理解し、使用できること

（B）専門知識と学際性

(B-1) 工学の基礎知識 工学の基礎知識を専門に応用できるまで理解できること すなわち、自然科学系科目や情報技術および基礎工学の知識の修得を通して、数学的手法・自然法則や情報技術および工学の基礎的知識の概念や理論を理解し、論理的思考力を養い、それらの知識や思考力を専門科目に応用できること

(B-2) 工学の専門知識 工学の専門知識を深く理解できること すなわち、専門分野の科目の修得を通して、専門分野の知識・技術を将来の仕事で活用できるまで理解できること さらに、これらの学習において自発的学習方法を身につけ、生涯にわたって自分で新たな知識などを獲得し自主的に継続して学習する習慣を身につけること

(B-3) 実践力 実験・実習等を確実に実践できること すなわち、実技系科目（実験・実習・演習等）の修得を通して、実働を計画的かつ確実に実践できること そこで得られた結果を学んだ知識と関連させて考察でき、それらの記述説明が的確にできること

(B-4) 工学の学際的知識 工学の学際的知識を専門知識に活用できる程度に習得すること すなわち、学際的資質育成科目等の修得を通して複眼的な視野を広げ、異分野の知識・技術を専門知識に活用できるまで理解できること

（C）創造性とデザイン能力

(C-1) 課題探究力 現状を進展させるための課題の探求・理解が自らできること すなわち、特別研究や特別演習・合同演習等の科目の修得を通して、現状を進展させるために創造性を発揮して自ら課題を見つけ、課題の本質を理解できること

(C-2) 課題解決力 様々な問題に対処できるデザイン能力を習得すること すなわち、特別研究や特別演習・合同演習等の科目の修得を通して、様々な問題に対して、これまで身につけた多面的考察力・工学の知識・実践力等を総合して活用し、現状での最適解を見出すことができること また、研究や作業を計画的に実行し完結させる力を身につけること さらに、他学科の学生と協同で実働する科目の修得を通して、他分野の人たちとのチームワークを実行できる能力を身につけること

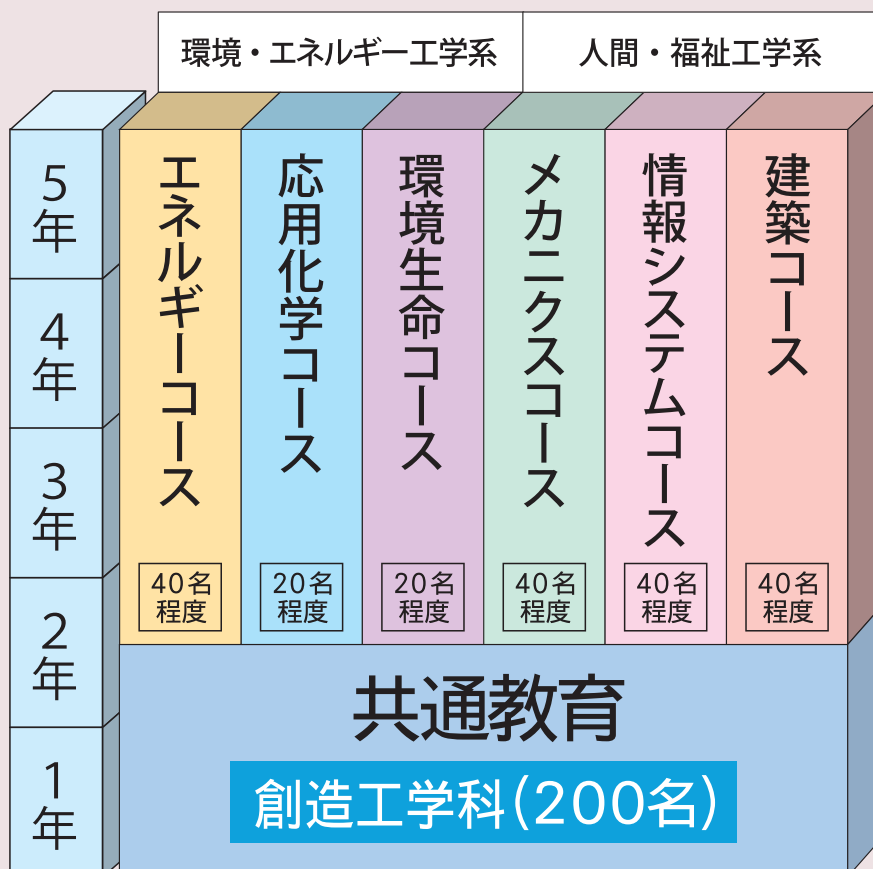
科学技術分野の融合化・複合化が著しく進んでいる現在、社会が真に求める人材は、これまでの専門分野に偏った技術者ではなく、多様な知識や技術を有し、グローバル化にも対応できる新しいタイプの技術者です。創造工学科ではそのような人材をよりの確に育成することができるように、環境・エネルギー工学系（エネルギー、応用化学、環境生命の各コース）と人間・福祉工学系（メカニクス、情報システム、建築の各コース）の2系・6コースで構成されています。

入学して1年半の間、専門分野の基礎を広く学び、その後にコースを選べるため、自分に合った専門分野に進むことができます。

コースに進んだ後、各コースの専門分野の知識や技術を修得すると同時に、社会が要求する多様な技術者に必要な専門分野にとらわれない技術全般に関する基礎的素養を十分に身につけることができます。

特に、工学教育への動機づけ教育を低学年時から発達段階に応じ実施する体制が整えられているので、現場に即した創造的で総合的な実践力を身につけることができます。

また、専門分野に加えて、技術者としての倫理観、豊かな教養と語学の素養を身につけることで、世界で活躍できるグローバルな技術者になることができます。



▲電気工事士実習



▲溶接実習



▲インターンシッププログラム

3つのポリシー

【ディプロマ・ポリシー（DP）：卒業認定の方針】

自然災害・高齢化社会などの現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした創造工学科の全課程を修了することにより、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定し、卒業証書を授与します。

- 1) 幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者
- 2) 専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者
- 3) 自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通して社会の発展に貢献できる技術者
- 4) 多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者
- 5) 国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者

エネルギーコース

エネルギー関連工学に関する学力及び技術力をもち、これらを駆使して持続可能な社会を築くために貢献できる実践力を有するとともに、エネルギー生産と消費の現状に関する知識を身につけ、エネルギー問題などの世界的社会ニーズにも対応できる能力

応用化学コース

応用化学に関する学力及び技術力をもち、自然環境の諸課題に対する化学の役割を認識し、これらの解決に貢献できる実践力を有するとともに、幅広い工学基礎知識を身につけ、環境問題などの地球規模の社会ニーズに対応できる能力

環境生命コース

環境工学や生命工学に関する学力及び技術力をもち、これらを利用することで様々な地球環境問題に貢献できる実践力を有するとともに、幅広い工学基礎知識を身につけ、食糧問題などの多様化する社会ニーズに対応できる能力

メカニクスコース

機械工学に関する学力及び技術力をもち、人間社会と智能機械の共存による福祉社会の実現を認識し、インテリジェントな機械技術を駆使して社会に貢献できる実践力を有するとともに、機械工学に関連する福祉工学やエレクトロニクスの基礎知識を身につけ、高齢化地域の社会課題に積極的な役割を担える能力

情報システムコース

情報システムに関する学力及び技術力をもち、情報システムの構築を通して人々の生活の質の向上に貢献できる実践力を有するとともに、情報システムとその周辺分野の知識を身につけ、人間社会の情報通信技術ニーズに対応できる能力

建築コース

建築に関する学力及び技術力をもち、建築学と人間社会の関連を認識し、安心・安全で、豊かさがある、魅力的な人々の生活環境を創造することに貢献できる実践力を有するとともに、建築学と関連工学分野の知識を身につけ、都市問題などの地域社会ニーズに対応できる能力

【カリキュラム・ポリシー（CP）：教育課程のつくり方・実施方法の方針】

ディプロマ・ポリシーに示した能力を育成するため、以下のようにカリキュラムを編成します。

《成績評価の方法》

- (1) 授業形態が「授業」科目および一部の「演習」の科目では、各科目の到達目標に基づき、定期試験、ポートフォリオ、発表など、各科目で定める評価方法による結果を用いて、学修成果の達成度を評価します。
- (2) 授業形態が「実験・実習」科目および一部の「演習」の科目では、各科目の到達目標に基づき、発表、ポートフォリオなど、各科目で定める方法により学修成果の達成度を評価します。
- (3) 卒業研究では、到達目標に基づき、研究成果をまとめた論文、研究発表、取り組み状況を踏まえ、学修成果の達成度を総合的に評価します。

《成績の評価および単位認定基準》

各科目の学修成果は、「成績評価の方法」に基づき定められた評価方法により総合的に評価します。

各科目における具体的な到達目標および評価方法はシラバスに記載されています。

成績は100点法または合否により行い、100点法においては60点以上、合否においては「合」の評価をもって単位を認定します。

- 1) 幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者を育成するための科目を配置します。
- 2) 専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者を育成するための科目を配置します。
- 3) 自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通して社会の発展に貢献できる技術者を育成するための科目を配置します。
- 4) 多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者を育成するための科目を配置します。
- 5) 国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者を育成するための科目を配置します。

共通科目

幅広い工学に関する基礎知識（B-1）を育成するために、基礎解析学・理科基礎をはじめとする一般科目、工学基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲや情報リテラシーⅠ・Ⅱなどの専門科目を配置します。また、主体性を発揮するための課題探究力（C-1）を育成するために、基礎物理学Ⅰ・Ⅱの一般科目、アントレプレナーシップ入門・課題研究などの専門科目を配置します。

実践力（B-3）を育成するために、製図や創造工学実験実習などの専門科目を配置します。なお、専門工学に関する高度な知識（B-2）を育成するための科目は、専門科目をコース毎に配置するので、共通科目としては配置しません。

倫理観（A-2）を育成するために、現代社会Ⅰ、地理学、化学Ⅱといった一般科目、工学基礎Ⅰ、技術者倫理などの専門科目を配置します。

学際的な技術分野で活躍できる知識（B-4）を育成するために、工学基礎Ⅲ、地元学などの専門科目を配置します。
国際社会で活躍できる広い視野と教養（A-1）を育成するために、地理学、歴史学などの一般科目を配置します。また、国際社会で活躍できるコミュニケーション能力（A-3）を育成するために、文学Ⅰ、英語Ⅰ、英語コミュニケーションBなどの一般科目を配置します。

エネルギーコース

基礎知識（B-1）を身につけるため、基礎電気回路や基礎電気磁気学などの専門基礎科目を配置します。また、課題探究力（C-1）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

専門知識（B-2）を身につけるため、電気回路Ⅱや電気磁気学Ⅱなどの電気・エネルギー工学基礎科目、電力発生工学などの電力工学科目、電子回路Ⅰ・Ⅱや電子デバイス工学などの電子工学科目、基礎通信工学などの情報通信工学、および卒業研究Ⅰを配置します。また、実践力（B-3）を育成するため、エネルギー工学演習やエネルギー工学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなどの演習・実験科目を配置します。

課題解決力（C-2）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

学際的知識（B-4）を育成するため、環境・エネルギー工学概論、環境工学、エネルギー工学などのエネルギー関連科目、物理化学概論、熱力学、水力学などの科目を配置します。

コミュニケーション能力（A-3）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

応用化学コース

基礎知識（B-1）を身につけるため、化学基礎、分析化学などの専門基礎科目を配置します。また、課題探究力（C-1）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

専門知識（B-2）を身につけるため、有機化学Ⅱ、物理化学Ⅱのような専門基礎科目に加え、材料化学、生物工学などの専門展開科目、および卒業研究Ⅰを配置します。また、実践力（B-3）を育成するため、専門基礎演習、応用化学基礎実験などの実験・演習科目を配置します。

課題解決力（C-2）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

学際的知識（B-4）を育成するため、環境・エネルギー工学概論、環境工学、エネルギー工学などのエネルギー関連科目、電気工学基礎Ⅰ、機械工学基礎Ⅰなどの工学基礎科目、機能材料工学などの科目を配置します。

コミュニケーション能力（A-3）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

環境生命コース

基礎知識（B-1）を身につけるため、化学基礎、分析化学などの専門基礎科目を配置します。また、課題探究力（C-1）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

専門知識（B-2）を身につけるため、有機化学Ⅱ、物理化学Ⅱのような専門基礎科目に加え、材料化学、生物工学などの専門展開科目、および卒業研究Ⅰを配置します。また、実践力（B-3）を育成するため、専門基礎演習、環境生命基礎実験などの実験・演習科目を配置します。

課題解決力（C-2）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

学際的知識（B-4）を育成するため、環境・エネルギー工学概論、環境工学、エネルギー工学などのエネルギー関連科目、電気工学基礎Ⅰ、機械工学基礎Ⅰなどの工学基礎科目、生物反応工学などの科目を配置します。

コミュニケーション能力（A-3）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

メカニクスコース

基礎知識（B-1）を身に付けるため、材料力学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、水力学、熱力学、材料学Ⅰ・Ⅱ、機構と要素、メカトロニクス基礎Ⅰ・Ⅱなどの専門基礎科目を配置します。また、課題探究力（C-1）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

専門知識（B-2）を身につけるため、機械力学、流体力学、計測工学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、基礎塑性力学のような機械工学基礎科目、および卒業研究Ⅰを配置します。また、実践力（B-3）を育成するため、専門工学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、創造設計演習Ⅰ・Ⅱなどの演習・実験科目を配置します。

課題解決力（C-2）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

学際的知識（B-4）を育成するため、福祉人間工学、情報福祉工学、高齢者福祉論、電気電子工学Ⅰ・Ⅱなどの科目を配置します。

コミュニケーション能力（A-3）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

情報システムコース

基礎知識（B-1）を身につけるため、電気電子工学基礎、プログラミングⅠ・Ⅱなどの専門基礎科目を配置します。また、課題探究力（C-1）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

専門知識（B-2）を身につけるため、電気回路Ⅱ、電子回路Ⅰ・Ⅱなどの電気電子工学科目、情報ネットワークやコンピュータなどの情報工学科目、および卒業研究Ⅰを配置します。また、実践力（B-3）を育成するため、情報システム演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、電子工学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなどの実験・演習科目を配置します。

課題解決力（C-2）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

学際的知識（B-4）を育成するため、システムプログラム、福祉人間工学、情報福祉工学、高齢者福祉論、人工知能、制御工学Ⅰ・Ⅱなどの科目を配置します。

コミュニケーション能力（A-3）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

建築コース

基礎知識（B-1）を身につけるため、住環境計画、建築環境工学Ⅰ、構造力学Ⅰ、建築構法などの計画系から生産系までの科目を配置します。また、課題探究力（C-1）を育成するため、建築設計演習Ⅲ・Ⅳなどの設計科目や卒業研究Ⅱを配置します。

専門知識（B-2）を身につけるため、福祉環境計画、建築設備Ⅱ、鉄筋コンクリート構造Ⅰ、建築生産などの計画系から

生産系までの科目、および卒業研究Ⅰを配置します。また、実践力（B-3）を育成するため、建築材料実験、卒業設計などの実験・総合科目を配置します。

課題解決力（C-2）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

学際的知識（B-4）を育成するため、福祉人間工学、情報福祉工学、高齢者福祉論、ユニバーサルデザインなどの科目を配置します。

コミュニケーション能力（A-3）を養成するため、卒業研究Ⅱを配置します。

【アドミッション・ポリシー（AP）：入学を求める人の素養〈本科入学生〉】

《求める学生像》

本校では、本科5年間と専攻科2年間を有機的に連携させた教育プログラムを通じ、幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に、創造性、多様性、学際性、国際性に富む実践的な高度技術者の育成を目指します。特に、人の営みから発生する課題や自然災害などがもたらす課題など人類が直面する大きな課題の解決に率先して取り組み、現代社会が抱える様々な課題を解決できるとともに、未来へ希望をつなぐ技術を創成できる技術者の育成を図るため、本校では基礎学力のある中学校卒業生等で次のような人を求めます。

- 1) ものづくりに興味がある人
- 2) チャレンジ精神がある人
- 3) 他の人と協力して作業ができる人
- 4) 物事を粘り強く続けることができる人
- 5) 社会に貢献したいと考えている人

《入学者選抜の基本方針》

《求める学生像》に合致した人を入学させるために、入学者の選抜は「推薦による選抜」と「学力による選抜」及び「帰国生徒等特別選抜」の3つの方法で行います。

◇ 推薦選抜

中学校卒業見込みで、在籍する学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる人を出願の条件とします。在籍学校長から提出された推薦書と調査書により、優れた人物で技術者としての適性を有しているかを評価するとともに、ものづくりに興味があり、中学校生活などを通じて身につけたチャレンジ精神やコミュニケーション能力などを面接により評価し、その結果を総合して選抜します。

◇ 学力選抜

中学校を卒業した人または卒業見込みの人を出願の条件とします。学力検査（マークシート方式による理科、英語、数学、国語及び社会の5教科）の結果により基礎学力を評価し、在籍（出身）学校長から提出された調査書において、本校の教育を受けるのに必要な素養を有しているかを評価し、その結果を総合して選抜します。

◇ 帰国生徒等特別選抜

帰国生徒等を出願の条件とします。学力検査（マークシート方式による理科、英語、数学及び国語の4教科）において、基礎学力を評価し、また本校への適性を在籍（出身）学校長から提出された調査書及び面接から評価し、その結果を総合して選抜します。

【アドミッション・ポリシー（AP）：入学を求める人の素養〈本科編入学生〉】

《求める学生像》

本校では、本科5年間と専攻科2年間を有機的に連携させた教育プログラムを通じ、幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に、創造性、多様性、学際性、国際性に富む実践的な高度技術者の育成を目指します。特に、人の営みから発生する課題や自然災害などがもたらす課題など人類が直面する大きな課題の解決に率先して取り組み、現代社会が抱える様々な課題を解決できるとともに、未来へ希望をつなぐ技術を創成できる技術者の育成を図るため、本校では専門、数学、英語の基礎学力のある高等学校卒業生等で次のような人を求めています。

- 1) ものづくりに興味がある人
- 2) チャレンジ精神がある人
- 3) 他の人と協力して作業ができる人
- 4) 物事を粘り強く続けることができる人
- 5) 社会に貢献したいと考えている人

《入学者選抜の基本方針》

《求める学生像》に合致した人を入学させるために、入学者の選抜を次の方法で行います。

高等学校又は中等教育学校を卒業見込みで、在籍する学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は編入学することを確約できる人を出願の条件とします。在籍学校長から提出された推薦書と調査書により、人物及び基礎学力が優れていることを評価するとともに、面接において工学に対する意欲とその適性を評価します。また、学力検査（工学基礎（数学及び理科の知識の応用）及び専門科目）により本校における専門科目を修得するための能力を有しているかを評価し、以上の結果を総合して選抜します。



環境・エネルギー工学系は、自然を対象とし、持続可能な社会を築く上で解決しなければならない環境問題、エネルギー問題及び食糧問題などの諸課題に取り組む技術者を育成することを目的としています。

この諸課題に対応するために必要不可欠な技術分野として「エネルギー」、「化学」、「環境・生命」をそれぞれの教育の柱とした「エネルギーコース」、「応用化学コース」及び「環境生命コース」の3つのコースで当系は構成されています。

また、本校の所在する有明地域では環境・エネルギー産業の創出に力を入れており、自治体・企業などとも連携し、地域的な課題を教育に取り入れることも可能であると期待されています。

当系では、環境工学やエネルギー工学などの環境やエネルギーに関する講義や演習などを系共通科目として取り入れ、環境やエネルギー分野で活躍できる技術者としての基盤教育を行うとともに、各コースにおいては関連技術分野の基礎から、環境・エネルギー技術への応用分野に関する科目を配置しています。

教育上の目的 自然と向き合い、環境問題、エネルギー問題及び食糧問題などの諸課題に取り組む技術者の育成を目指しています。そのために、以下のような人を歓迎します。

- 1) 数学や理科への勉学の意欲が高く、実験が好きな人
- 2) より高度な専門知識を身につけようとする意欲がある人
- 3) さまざまな事柄に科学的な興味をもつことができる人



エネルギーコース

世界人口の増加や生活水準の向上に伴うエネルギー消費の拡大は、資源・環境問題などを引き起こしており、これら諸問題への対応は人類の喫緊の課題となっています。特にエネルギー資源の確保・開発やエネルギーの効率的な利用は、持続可能な社会を築く上で重要な位置を占めています。

エネルギーコースでは、地球環境への配慮と持続成長可能性を考慮しながら新エネルギーの開発・利用、エネルギーの効率的な変換などに関する知識を身につけ、様々な分野で発展したエネルギー関連技術を駆使し、環境との調和を図るとともに、諸課題に対応しうる技術者の育成を目指しています。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) さまざまな自然現象に興味をもち、積極的に勉強する意欲がある人
- 2) 実験や工作に興味をもち、人と協力してものごとに取り組むことができる人
- 3) エネルギーや環境問題に関心をもち、技術を介して社会に貢献する意志がある人

教育上の目的 1) エネルギー関連工学に関する基礎学力及び基礎技術力をもつ技術者の育成
2) エネルギーの発生・変換に関する知識と技術を駆使し、持続可能な社会を築くために貢献できる実践的技術者の育成
3) エネルギー生産と消費の現状に関する知識を身につけ、エネルギー問題などの世界的社会ニーズに対応できる技術者の育成



応用化学コース

化学は原子・分子を取り扱い、原材料から価値の高い物質、製品を生み出すことにより、これまで様々な分野でソリューションを提供してきており、近年の自然災害や環境・資源・エネルギー問題、多様化した産業の発展など、複雑化・多様化した諸課題に対応しうる基幹分野の一つです。

応用化学コースでは、化学の基礎学力及び基礎技術力を有し、持続成長可能性を考慮しながら、新たな素材創成や機能の付与ならびにその評価ができる知識、技術を修得し、さらに周辺分野の知識を有し、化学的手法を用いて諸課題を解析・対応・解決することができる実践的技術者の育成を目的としています。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) 他の人の考えを聴き、自分の考えを表現できる能力の向上に意欲がある人
- 2) 他の人と協力して長時間の実験にも集中して根気強く取り組むことができる人
- 3) 基本的な生活習慣が身についている人

教育上の目的 1) 応用化学に関する基礎学力及び基礎技術力をもつ技術者の育成
2) 自然環境の諸課題に対する化学の役割を認識し、これらの解決に貢献できる実践的技術者の育成
3) 化学に関連する幅広い工学基礎知識を身につけ、環境問題などの地球規模の社会ニーズに対応できる技術者の育成



環境生命コース

バイオテクノロジーは生物が有する機能や情報を基に工学的に応用した技術です。近年、地球環境保全、新規医療、食品生産など様々な分野において人々の生活向上を目指す上で、バイオテクノロジーへの期待が高まっています。

環境生命コースでは、食糧問題、環境問題、エネルギー問題、資源の有効活用など複雑化・多様化した諸課題に対して生命現象を理解し、環境工学や生命工学に関する知識や周辺分野の知識を有することでバイオテクノロジーを総合的に応用し、解決すべき課題を自らの力で見出し、高い創造性をもって解決できる実践的技術者の育成を目指しています。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) 生命現象、生物資源や自然環境に関心をもち、自ら粘り強く学習や実験を続ける意志がある人
- 2) 自分の考えをもち、それを表現でき、さらに人の意見を聴くことのできる協調性がある人
- 3) 基本的な生活習慣が身についている人

教育上の目的 1) 環境工学や生命工学に関する基礎学力及び基礎技術力をもつ技術者の育成
2) 生体分子及び生命現象を理解し、その知識を利用することで様々な地球環境問題に貢献できる実践的技術者の育成
3) 環境や生命に関連する幅広い工学基礎知識を身につけ、食糧問題などの多様化する社会ニーズに対応できる技術者の育成

常勤教員

職名	氏名	担当教科目	専門分野
教授 博士(工学)	榎本 尚也 エノモト ナオヤ	物理化学、物理化学実験 他	無機材料化学
教授 博士(工学)	南部 幸久 ナンブ ユキヒサ	電気電子設計、エネルギーシステム 他	通信工学
教授 博士(工学)	石丸 智士 イシマル サトシ	電子工学、電子デバイス工学 他	半導体物性、光電気化学
教授 博士(工学)	小林 正幸 コバヤシ マサユキ	生物物理化学、酵素化学 他	生物物理化学
教授 博士(工学)	河野 晋 コウノ ススム	電気機器、高電圧工学 他	パルスパワー工学
教授 博士(工学)	田中 康徳 タナカ ヤスノリ	無機化学Ⅰ、材料化学 他	溶射工学、無機材料化学
教授 博士(情報工学)	尋木 信一 タズネキ シンイチ	情報処理Ⅰ・Ⅱ、計算機工学 他	ソフトウェア工学、教育システム情報
教授 博士(情報工学)	石橋 孝昭 イシバシ タカアキ	電気回路Ⅰ、制御工学Ⅰ 他	信号処理、福祉工学
教授 博士(環境共生学)	内田 雅也 ウチダ マサヤ	環境・エネルギー工学概論、環境化学 他	環境化学
教授 博士(工学)	大河平 紀司 オコヒラ タダシ	機器分析学Ⅰ・Ⅱ、高分子化学Ⅰ・Ⅱ 他	高分子工学、計算化学
准教授 博士(工学)	出口 智昭 デグチ トモアキ	微生物工学、食品工学 他	微生物工学
准教授 博士(工学)	近藤 満 コンドウ ミツル	反応工学、応用化学演習Ⅰ 他	化学工学
准教授 博士(人間・環境学)	藤本 大輔 フジモト ダイスケ	有機化学Ⅰ・Ⅱ 他	有機化学
准教授 博士(工学)	鷹林 将 タカバヤシ ススム	電気磁気学Ⅰ・Ⅱ、電気電子設計 他	プラズマ工学、炭素材料科学
准教授 博士(工学)	清水 暁生 シミズ アキオ	エネルギー工学実験Ⅰ、電子回路Ⅰ・Ⅱ 他	電子回路
講師 博士(農学)	石川 元人 イシカワ ゲント	工学基礎Ⅲ、生物化学Ⅰ 他	生物有機化学
講師 博士(工学)	白川 知秀 シラカワ トモヒデ	基礎電気回路、エネルギー工学実験Ⅰ・Ⅲ 他	パワーエレクトロニクス
特任教授 博士(工学)	劉 丹 リュウ タン	分析化学、化学工学 他	分析化学、環境工学
嘱託教授 薬学博士	富永 伸明 トミナガ ノブアキ	基礎生物、生物工学	生化学

非常勤教員

氏名	担当教科目	備考
齊藤 弘順 サイトウ ヒロノリ	伝熱工学、内燃機関	崇城大学教授
勇 秀忠 イサミ ヒデタダ	技術者倫理	(株)ウラタ・シビル・コンサルタント
南 明宏 ミナミ アキヒロ	機械工学基礎	有明高専名誉教授
久原 正也 クハラ マサヤ	技術者倫理	久原技術士事務所
江頭 力 エガシラ チカラ	品質管理	(株)ファインテック



	授業科目 Subjects	単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備考 Notes	
			1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th		
必修科目 Required Subjects	工学基礎 Basic Engineering	工学基礎Ⅰ Basic Engineering I	1	1				共通科目	
		工学基礎Ⅱ Basic Engineering II	1	1				共通科目	
		工学基礎Ⅲ Basic Engineering III	1		1			共通科目	
		製図 Drawing	1	1				共通科目	
		情報リテラシーⅠ Information Literacy I	2	2				共通科目	
		情報リテラシーⅡ Information Literacy II	1	1				共通科目	
		創造工学実験実習 Experiments and Exercises in Creative Engineering	1	1				共通科目	
		地元学 Local Community Analysis	1	1				共通科目	
		アントレプレナーシップ入門 Introduction to Entrepreneurship	1	1				共通科目	
		課題研究 Exercises on Engineering	1		1			共通科目	
		専門基礎演習 Basic Exercise for Engineering	1	1				共通科目	
		応用物理学 Applied Physics	4		4			共通科目	
		応用数学Ⅰ Applied Mathematics I	2			2		共通科目	
		応用数学Ⅱ Applied Mathematics II	1			1		共通科目	
		創造設計基礎演習 Basic Exercise for Creative design	1			1		30H+15H/単位	
		技術者倫理 Engineering Ethics	1				1	共通科目・30H+15H/単位	
		環境・エネルギー工学系共通 Environmental and Energy Engineering	環境・エネルギー工学概論 Introduction to Environmental and Energy Engineering	1	1				系共通
			専門創造演習 Creative Practice for Engineering	1		1			系共通
			環境工学 Environmental Engineering	1			1		系共通・30H+15H/単位
エネルギー工学 Energy Engineering	1				1		系共通・30H+15H/単位		
電気・エネルギー工学基礎 Fundamentals of Electric and Energy Engineering	基礎電気回路 Electric Circuits Fundamentals	1	1						
	電気回路Ⅰ Electric Circuits I	2		2					
	電気回路Ⅱ Electric Circuits II	2			2		15H+30H/単位		
	基礎電気磁気学 Electromagnetism Fundamentals	1	1						
	電気磁気学Ⅰ Electromagnetism I	2		2					
	電気磁気学Ⅱ Electromagnetism II	2			2		15H+30H/単位		
	電気電子計測 Electrical and Electronic Measurements	2		2					
	電気電子材料 Electrical and Electronic Materials	1				1	30H+15H/単位		
	制御工学Ⅰ Control Engineering I	1			1		30H+15H/単位		
	制御工学Ⅱ Control Engineering II	1			1		30H+15H/単位		
	電気電子設計 Electric and Electronic Circuit Design	2				2	30H+15H/単位		
	エネルギー工学演習 Exercises in Energy Engineering	1			1		30H+15H/単位		
	エネルギー工学実験Ⅰ Experiments in Energy Engineering I	4		4					
エネルギー工学実験Ⅱ Experiments in Energy Engineering II	2			2		45H+0H/単位			
エネルギー工学実験Ⅲ Experiments in Energy Engineering III	2				2	45H+0H/単位			
電力工学 Electric Power Engineering	電気機器 Electric Machinery	2		2					
	エネルギー変換工学 Energy Conversion Engineering	2			2		15H+30H/単位		
	電力発生工学 Electrical Power Generation Engineering	1			1		30H+15H/単位		
	電力輸送工学 Electrical Power Transmission Engineering	1				1	30H+15H/単位		
電子工学 Electronic Engineering	パワーエレクトロニクス Power Electronics	1				1	30H+15H/単位		
	電子工学 Electronic Engineering	2		2					
	電子デバイス工学 Electronic Device Engineering	1			1		30H+15H/単位		
	電子回路Ⅰ Electronic Circuits I	1			1		30H+15H/単位		
情報通信工学 Computer and Communication Engineering	電子回路Ⅱ Electronic Circuits II	1			1		30H+15H/単位		
	情報処理Ⅰ Computer Science I	1	1						
	情報処理Ⅱ Computer Science II	2		2					
	計算機工学 Computer Engineering	1			1		30H+15H/単位		
卒業研究 Graduation Research	基礎通信工学 Communication Engineering Fundamentals	1				1	30H+15H/単位		
	卒業研究Ⅰ Graduation Research I	2			2				
	卒業研究Ⅱ Graduation Research II	8				8			
	小計 Subtotal	78	6	9	22	24	17		
選択科目 Elective Subjects	電力工学・エネルギー工学 Electric Power and Energy Engineering	高電圧工学 High Voltage Engineering	1				1	30H+15H/単位	
		エネルギー資源 Energy Resources	2				2	15H+30H/単位	
		エネルギーシステム Energy Systems	2				2	15H+30H/単位	
		エネルギー応用 Energy Applications	1				1	30H+15H/単位	
	電気複合・総合 Interdisciplinary Subjects	電気法規 Laws and Regulations on Electrical Facilities	1				1	30H+15H/単位	
		デジタル回路 Digital Circuits	1			1		30H+15H/単位	
		信頼性工学 Reliability Engineering	1				1	30H+15H/単位	
	複合・エネルギー関連 Interdisciplinary and Energy-related Subjects	物理化学概論 Introduction to Physical Chemistry	1				1	30H+15H/単位	
		熱力学 Thermodynamics	1			1		30H+15H/単位	
		内燃機関 Internal Combustion Engine	1				1	30H+15H/単位	
伝熱工学 Heat Transfer Engineering		1				1	30H+15H/単位		
流体工学 Fluid Engineering		1				1	30H+15H/単位		
数値計算法 Numerical Computation		1				1	2科目から1科目選択		
水力学 Hydraulics	1				1	30H+15H/単位			
信号処理 Signal Processing	1				1	2科目から1科目選択			
	小計 Subtotal	17	0	0	0	2	15		
開設単位数 Total of Credits Offered		95	6	9	22	26	32		
修得可能単位数 Earnable Credit		93	6	9	22	26	30		
授業外科目	学外実習 Extramural Practice	1(2)				1(2)			
	特別講義 Special Lecture	1							
	特別学修（専門科目）Ⅰ	1				1	履修に関する事項は別に定める		
	特別学修（専門科目）Ⅱ	2							
	特別学修（専門科目）Ⅲ	3							
	特別学修（専門科目）Ⅳ	4							
他高専・大学の開講科目（専門科目）		他高専・他大学で修得した科目の単位数		履修に関する事項は別に定める					

※備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。



	授業科目 Subjects	単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備考 Notes
			1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	
必修科目 Required Subjects	工学基礎 Basic Subjects	工学基礎Ⅰ Basic Engineering I	1	1				共通科目
		工学基礎Ⅱ Basic Engineering II	1	1				共通科目
		工学基礎Ⅲ Basic Engineering III	1		1			共通科目
		製図 Drawing	1	1				共通科目
		情報リテラシーⅠ Information Literacy I	2	2				共通科目
		情報リテラシーⅡ Information Literacy II	1		1			共通科目
		創造工学実験実習 Experiments and Exercises in Creative Engineering	1	1				共通科目
		地元学 Local Community Analysis	1		1			共通科目
		アントレプレナーシップ入門 Introduction to Entrepreneurship	1		1			共通科目
		課題研究 Exercises on Engineering	1			1		共通科目
		専門基礎演習 Basic Exercise for Engineering	1		1			共通科目
		応用物理学 Applied Physics	4			4		共通科目
		応用数学Ⅰ Applied Mathematics I	2				2	共通科目
		応用数学Ⅱ Applied Mathematics II	1				1	共通科目
	創造設計基礎演習 Basic Exercise for Creative design	1				1	30H+15H/単位	
	技術者倫理 Engineering Ethics	1					1 共通科目・30H+15H/単位	
	アカデミックスキル Academic Skills	1		1				
	環境・エネルギー工学系共通 Environmental and Energy Engineering	環境・エネルギー工学概論 Introduction to Environmental and Energy Engineering	1		1			系共通
		専門創造演習 Creative Practice for Engineering	1			1		系共通
		環境工学 Environmental Engineering	1				1	系共通・30H+15H/単位
		エネルギー工学 Energy Engineering	1				1	系共通・30H+15H/単位
	専門基礎 Specialized Subjects	化学基礎 Basic Chemistry	1		1			
		分析化学 Analytical Chemistry	1		1			
		無機化学Ⅰ Inorganic Chemistry I	2			2		
		有機化学Ⅰ Organic Chemistry I	2			2		
		物理化学Ⅰ Physical Chemistry I	2			2		
		化学工学基礎 Basic Chemical Engineering	1			1		
		生物化学Ⅰ Biochemistry I	1			1		
		有機化学Ⅱ Organic Chemistry II	2				2	15H+30H/単位
		物理化学Ⅱ Physical Chemistry II	1				1	30H+15H/単位
		化学工学 Chemical Engineering	2				2	15H+30H/単位
		無機化学Ⅱ Inorganic Chemistry II	1				1	30H+15H/単位
		生物化学Ⅱ Biochemistry II	1				1	30H+15H/単位
有機化学Ⅲ Organic Chemistry III		1				1	30H+15H/単位	
物理化学Ⅲ Physical Chemistry III		1				1	30H+15H/単位	
物理化学Ⅳ Physical Chemistry IV	1					1 30H+15H/単位		
専門展開 Advanced and Applied Subjects	材料化学 Materials Chemistry	1				1	30H+15H/単位	
	機器分析学Ⅰ Instrumental Analysis I	2				2	15H+30H/単位	
	生物工学基礎 Basic Biological Engineering	1				1	30H+15H/単位	
	反応工学 Chemical Reaction Engineering	1				1	30H+15H/単位	
	微生物工学 Microbiological Engineering	1				1	30H+15H/単位	
	プロセスシステム工学 Process System Engineering	1				1	30H+15H/単位	
	生物工学 Biological Engineering	2				2	15H+30H/単位	
	高分子化学Ⅰ Polymer Chemistry I	2				2	15H+30H/単位	
実験 Experiments	応用化学基礎実験 Basic Experiments in Applied Chemistry	2		2				
	応用化学実験Ⅰ Experiments in Applied Chemistry I	2			2			
	応用化学実験Ⅱ Experiments in Applied Chemistry II	2			2			
	応用化学実験Ⅲ Experiments in Applied Chemistry III	1				1	45H+0H/単位	
	応用化学実験Ⅳ Experiments in Applied Chemistry IV	1				1	45H+0H/単位	
	応用化学総合実験 Comprehensive Experiments in Applied Chemistry	1				1	45H+0H/単位	
卒業研究 Graduation Research	卒業研究Ⅰ Graduation Research I	2				2		
	卒業研究Ⅱ Graduation Research II	9				9		
	小計 Subtotal	77	6	11	18	23	19	
選択科目 Elective Subjects	工学基礎 Basic Subjects	電気工学基礎Ⅰ Basic Electrical Engineering I	1				1	30H+15H/単位
		電気工学基礎Ⅱ Basic Electrical Engineering II	1				1	30H+15H/単位
		機械工学基礎Ⅰ Basic Mechanical Engineering I	1				1	30H+15H/単位
		機械工学基礎Ⅱ Basic Mechanical Engineering II	1				1	30H+15H/単位
		品質管理 Quality Control	1				1	30H+15H/単位
	専門展開 Advanced and Applied Subjects	化学英語 Chemical English	1				1	30H+15H/単位
		機器分析学Ⅱ Instrumental Analysis II	1				1	30H+15H/単位
		環境化学 Environmental Chemistry	1				1	30H+15H/単位
		高分子化学Ⅱ Polymer Chemistry II	1				1	30H+15H/単位
		機能材料工学 Functional Materials Engineering	1				1	30H+15H/単位
		工業材料 Industrial Materials	1				1	30H+15H/単位
		応用化学演習Ⅰ Exercises in Applied Chemistry I	1				1	30H+15H/単位
		応用化学演習Ⅱ Exercises in Applied Chemistry II	1				1	30H+15H/単位
		応用化学演習Ⅲ Exercises in Applied Chemistry III	1				1	30H+15H/単位
小計 Subtotal	14	0	0	0	2	12		
開設単位数 Total of Credits Offered		91	6	11	18	25	31	
修得可能単位数 Earnable Credit		91	6	11	18	25	31	
授業外科目	学外実習 Extramural Practice	1(2)					1(2)	
	特別講義 Special Lecture	1					1	
	特別学修(専門科目)Ⅰ	1						
	特別学修(専門科目)Ⅱ	2						
	特別学修(専門科目)Ⅲ	3						
	特別学修(専門科目)Ⅳ	4						
	他高専・大学の開講科目(専門科目)							履修に関する事項は別に定める

※備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。



	授 業 科 目 Subjects	単位数 Number of Credits	学 年 別 配 当 Number of Credits by Grades					備 考 Notes	
			1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th		
工学基礎 Basic Subjects	工学基礎Ⅰ Basic Engineering I	1	1					共通科目	
	工学基礎Ⅱ Basic Engineering II	1	1					共通科目	
	工学基礎Ⅲ Basic Engineering III	1		1				共通科目	
	製図 Drawing	1	1					共通科目	
	情報リテラシーⅠ Information Literacy I	2	2					共通科目	
	情報リテラシーⅡ Information Literacy II	1		1				共通科目	
	創造工学実験実習 Experiments and Exercises in Creative Engineering	1	1					共通科目	
	地元学 Local Community Analysis	1		1				共通科目	
	アントレプレナーシップ入門 Introduction to Entrepreneurship	1		1				共通科目	
	課題研究 Exercises on Engineering	1			1			共通科目	
	専門基礎演習 Basic Exercise for Engineering	1		1				共通科目	
	応用物理学 Applied Physics	4			4			共通科目	
	応用数学Ⅰ Applied Mathematics I	2				2		共通科目	
	応用数学Ⅱ Applied Mathematics II	1				1		共通科目	
創造設計基礎演習 Basic Exercise for Creative Design	1				1		30H + 15H/単位		
技術者倫理 Engineering Ethics	1					1	共通科目・30H + 15H/単位		
環境・エネルギー工学系共通 Environmental and Energy Engineering	環境・エネルギー工学概論 Introduction to Environmental and Energy Engineering	1		1				系共通	
	専門創造演習 Creative Practice for Engineering	1			1			系共通	
	環境工学 Environmental Engineering	1				1		系共通・30H + 15H/単位	
	エネルギー工学 Energy Engineering	1				1		系共通・30H + 15H/単位	
専門基礎 Specialized Subjects	分析化学 Analytical Chemistry	1		1					
	化学基礎 Basic Chemistry	1		1					
	基礎生物 Basic Biology	1		1					
	無機化学Ⅰ Inorganic Chemistry I	2			2				
	有機化学Ⅰ Organic Chemistry I	2			2				
	物理化学Ⅰ Physical Chemistry I	2			2				
	化学工学基礎 Basic Chemical Engineering	1			1				
	生物化学Ⅰ Biochemistry I	1			1				
	有機化学Ⅱ Organic Chemistry II	2				2		15H + 30H/単位	
	無機化学Ⅱ Inorganic Chemistry II	1				1		30H + 15H/単位	
	物理化学Ⅱ Physical Chemistry II	1				1		30H + 15H/単位	
	物理化学Ⅲ Physical Chemistry III	1				1		30H + 15H/単位	
	化学工学 Chemical Engineering	2				2		15H + 30H/単位	
	生物化学Ⅱ Biochemistry II	1				1		30H + 15H/単位	
専門展開 Advanced and Applied Subjects	生物反応工学 Bioreaction Engineering	1				1		30H + 15H/単位	
	生物工学基礎 Basic Biological Engineering	1				1		30H + 15H/単位	
	材料化学 Materials Chemistry	1				1		30H + 15H/単位	
	微生物工学 Microbiological Engineering	1				1		30H + 15H/単位	
	生物有機化学 Bioorganic Chemistry	1				1		30H + 15H/単位	
	生物物理化学 Biophysical Chemistry	1					1	30H + 15H/単位	
	プロセスシステム工学 Process System Engineering	1					1	30H + 15H/単位	
	生物工学 Biological Engineering	2					2	15H + 30H/単位	
	機器分析学Ⅰ Instrumental Analysis I	2					2	15H + 30H/単位	
	高分子化学Ⅰ Polymer Chemistry I	2					2	15H + 30H/単位	
実験 Experiments	環境生命基礎実験 Basic Experiments in Applied Chemistry	2		2					
	環境生命実験Ⅰ Experiments in Life and Environment I	2			2				
	環境生命実験Ⅱ Experiments in Life and Environment II	2			2				
	環境生命実験Ⅲ Experiments in Life and Environment III	1				1		45H + 0H/単位	
	環境生命実験Ⅳ Experiments in Life and Environment IV	1				1		45H + 0H/単位	
	生物工学実験 Experiments in Biological Engineering	1					1	45H + 0H/単位	
卒業研究 Graduation Research	卒業研究Ⅰ Graduation Research I	2				2			
	卒業研究Ⅱ Graduation Research II	9					9		
	小計 Subtotal	77	6	11	18	23	19		
選 択 科 目 Elective Subjects	工学基礎 Basic Subjects	電気工学基礎Ⅰ Basic Electrical Engineering I	1					1	30H + 15H/単位
		電気工学基礎Ⅱ Basic Electrical Engineering II	1					1	30H + 15H/単位
		機械工学基礎Ⅰ Basic Mechanical Engineering I	1				1		30H + 15H/単位
		機械工学基礎Ⅱ Basic Mechanical Engineering II	1				1		30H + 15H/単位
		品質管理 Quality Control	1					1	30H + 15H/単位
	専門展開 Advanced and Applied Subjects	酵素化学 Enzyme Chemistry	1				1		30H + 15H/単位
		生態学 Ecology	1				1		30H + 15H/単位
		食品工学 Food Engineering	1					1	30H + 15H/単位
		生物工学演習Ⅰ Exercises in Biotechnology I	1					1	30H + 15H/単位
		生物工学演習Ⅱ Exercises in Biotechnology II	1					1	30H + 15H/単位
		細胞生物学 Cell Biology	1					1	30H + 15H/単位
		機器分析学Ⅱ Instrumental Analysis II	1					1	30H + 15H/単位
		環境化学 Environmental Chemistry	1					1	30H + 15H/単位
		遺伝子工学 Genetic Engineering	1					1	30H + 15H/単位
	小計 Subtotal	14	0	0	0	2	12		
開設単位数 Total of Credits Offered		91	6	11	18	25	31		
修得可能単位数 Earnable Credit		91	6	11	18	25	31		
授業外科目	学外実習 Extramural Practice	1(2)					1(2)		
	特別講義 Special Lecture	1					1		
	特別学修（専門科目）Ⅰ	1						履修に関する事項は別に定める	
	特別学修（専門科目）Ⅱ	2							
	特別学修（専門科目）Ⅲ	3							
	特別学修（専門科目）Ⅳ	4							
	他高専・大学の開講科目（専門科目）		他高専・他大学で修得した科目の単位数						履修に関する事項は別に定める

※備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。



人間・福祉工学系

人間・福祉工学系は、人間を対象とし、人々の生活の質の向上を目指して都市問題、高齢化社会問題などの諸課題に取り組む技術者を育成することを目的としています。

これらの諸課題に対応するため「知能機械・福祉工学」、「情報システム」、「建築デザイン」をそれぞれの教育の柱とした「メカニクスコース」、「情報システムコース」、「建築コース」の3つのコースで当系は構成されています。

また、三池炭鉱閉山後の人口減少に伴う新たなまちづくりの問題や高齢化への対応など、有明地域が抱えている課題を教育に取り入れています。

当系における基盤教育として、社会福祉や生活支援、生体機能、人間工学などの社会生活や福祉に関する3コース共通科目を配置し、座学や地域での演習などを通して、都市問題や高齢化社会問題に対応できる技術者の基盤を養成します。また、各コースにおいては人間・福祉工学関連技術分野の基礎から応用に関する科目を配置しています。

教育上の目的 人々の生活の質の向上を目指して、都市問題、高齢化社会問題などの諸課題に取り組む技術者の育成を目指しています。そのために、以下のような人を歓迎します。

- 1) 数学や理科はもちろんのこと、その他のいろいろな分野に興味がある人
- 2) ものの仕組みや原理に関心があり、専門知識を身につけたいと思っている人
- 3) ものづくりを通して人々の生活を豊かにすることに意欲がある人



メカニクスコース

メカニクスとは物体の運動に関連した力学を意味します。このコースでは機械力学、材料力学、熱力学、水力学という機械工学のベースとなる4つの力学に関する知識や技術を学びながら、エレクトロニクスや情報通信技術（ICT）との統合が進む近年の幅広いものづくりに対応できる技術者の育成を目指しています。

このコースでは、ハイブリッドカー、電気自動車、航空機、ロボット、家電といった近年のハイテク機器の設計生産のための従来からある機械4力学のみならず医療福祉、環境エネルギー、システムエンジニアリングといった新しい分野にも対応可能な知識とスキルを学びます。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) 機械のメカニズムに興味があり、その知識を専門的に身につけたいと考えている人
- 2) 自らアイデアを出し、科学技術を使ってものづくりをしたいと思っている人
- 3) 地球環境に配慮し、すべての人が豊かに生活できる未来を創造することに興味がある人

教育上の目的

- 1) 機械工学に関する基礎学力及び基礎技術力をもつ技術者の育成
- 2) 人間社会と知能機械の共存による福祉社会の実現を認識し、インテリジェントな機械技術を駆使して社会に貢献できる実践的技術者の育成
- 3) 機械工学に関連する福祉工学やエレクトロニクスの基礎知識を身につけ、高齢化地域の社会課題に積極的な役割を担える技術者の育成



情報システムコース

情報通信技術（ICT技術）を活用した情報システムは、生産、経済、医療、福祉、教育などのあらゆる分野で使われており社会基盤として不可欠なものになっています。情報システムコースでは、(1)コンピュータのソフトウェア及びハードウェア、情報ネットワーク、組み込みシステムなど情報システムに関する基礎学力及び基礎技術力をもつ技術者、(2)情報システムの構築を通して人々の生活の質（QOL）の向上に貢献できる実践的技術者、(3)情報システムとその周辺分野の知識を身につけ社会ニーズに柔軟に対応できる技術者の育成を図ります。

なお、本コースは「人間・福祉工学系」に設置されたコースであり、人間工学及び福祉工学に関する知識を有し、高齢化社会問題などの諸課題に情報システムという観点から取り組むことのできる技術者の育成を目指します。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) 数学や理科や語学が好きで、自発的に努力ができる人
- 2) コンピュータやスマートフォンなどの情報通信機器の仕組みに興味がある人
- 3) 情報システムを人々の役に立たせたいと考えている人

教育上の目的

- 1) 情報システムに関する基礎学力及び基礎技術力をもつ技術者の育成
- 2) 情報システムの構築を通して人々の生活の質の向上に貢献できる実践的技術者の育成
- 3) 情報システムとその周辺分野の知識を身につけ、人間社会の情報通信技術ニーズに対応できる技術者の育成



建築コース

建築は、衣食住という人間の基本的な生活の一つである「住」に直接的に関わり、人間に密接な存在で、都市や環境を構成する基本的な要素です。したがって、建築技術者は、人間の社会生活を育む自然や風土に調和した豊かな美しい生活空間を創造し、自然と共生しながら人間生活の安全性や快適性を追求し、人間生活の質を向上させなければなりません。さらに、都市問題、環境問題、加速度的に進行している高齢化社会にも建築技術者は対応し、貢献しなければなりません。そして、近年の想像を超えた自然災害に対しても人間の生命を守る使命を果たさなければなりません。そのため、建築学の知識とその領域を超えて機械工学や情報工学など、他の分野の知識を活用しながら、そのことに取り組んでいかなければなりません。

そこで建築コースでは、建築学と人間社会の関連を認識し、また、自然と共生しながら、安全で、豊かで、魅力的な人間の生活環境を創造することに貢献できる実践的技術者の育成を目指します。また、都市問題・環境問題・高齢化社会問題など、現代の諸問題に対応できる技術者の養成を目指します。そして、建築学と関連する工学分野の知識を身につけ、地域社会のニーズに対応できる技術者の育成を目指します。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) 数学や理科はもちろんのこと、社会や芸術などいろいろな分野に興味をもち、勉強している人
- 2) 家づくりやまちづくりに興味をもっている人
- 3) 建築の仕事を通して、社会に貢献しようと考えている人

教育上の目的

- 1) 建築に関する基礎学力及び基礎技術力をもつ技術者の育成
- 2) 建築学と人間社会の関連を認識し、安全で、豊かで、魅力的な人々の生活環境を創造することに貢献できる実践的技術者の育成
- 3) 建築学と関連工学分野の知識を身につけ、都市問題などの地域社会ニーズに対応できる技術者の育成

常勤教員

職名	氏名	担当教科目	専門分野
教授 博士(工学)	松野 哲也 マツノ テツヤ	電磁気学、制御工学Ⅰ・Ⅱ 他	計算物理
教授 博士(工学)	松村 光太郎 マツムラ コウタロウ	構造力学Ⅰ・Ⅱ、建築材料実験 他	建築構造学、雪氷学
教授 博士(工学)	柳原 聖 ヤナギハラ キョウシ	技術者倫理、計測制御Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 機械力学 他	計測制御工学
教授 修士(工学)	松野 良信 マツノ ヨシノブ	工学基礎Ⅰ・Ⅱ、情報ネットワーク 他	情報ネットワーク
教授 博士(情報工学)	嘉藤 学 カトウ マナブ	情報リテラシーⅡ、アルゴリズムⅠ・Ⅱ 他	情報通信工学
教授 博士(工学)	坪根 弘明 ツボネ ヒロアキ	水力学、流体工学 他	流体工学
教授 博士(マイクロエレクトロニクス)	GAUTHIER LOVIC ERIC ゴージェ ロヴィック エリック	コンピュータアーキテクチャⅠ・Ⅱ、 信号処理 他	計算機工学
教授 博士(工学)	岩下 勉 イワシタ ツトム	鋼構造Ⅰ・Ⅱ、建築実験実習 他	建築構造学
教授 博士(工学)	下田 誠也 シモダ セイヤ	建築材料Ⅰ・Ⅱ、建築実験実習 他	建築材料学
教授 博士(工学)	原 武嗣 ハラ タケシ	電気回路Ⅰ・Ⅱ、半導体工学 他	電子材料工学
教授 博士(工学)	石川 洋平 イシカワ ヨウヘイ	電子回路Ⅰ・Ⅱ、サーキットデザイン 他	電子回路
教授 博士(工学)	岩本 達也 イワモト タツヤ	機械基礎製図Ⅰ、材料力学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 他	材料力学
教授 博士(工学)	篠崎 烈 シノザキ アキラ	工学基礎Ⅲ、ものづくり基礎Ⅰ 他	精密加工
准教授 博士(工学)	坂本 武司 サカモト タケシ	機構と要素、創造設計演習Ⅱ 他	精密加工
准教授 博士(工学)	森山 英明 モリヤマ ヒデアキ	システムプログラム、ソフトウェア工学 他	基本ソフトウェア
准教授 博士(工学)	正木 哲 マサキ テツ	建築計画Ⅰ・Ⅱ、建築設計演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 他	建築計画学
准教授 博士(工学)	伊野 拓一郎 イノ タクイチロウ	熱力学、数値計算法 他	計算力学
准教授 博士(工学)	野口 卓朗 ノグチ タクロウ	論理回路、電子回路Ⅱ 他	電子回路
講師 博士(学術)	藤原 ひとみ フジワラ ヒトミ	高齢者福祉論、建築設計演習Ⅱ・Ⅲ 他	建築計画学
講師 博士(工学)	窪田 真樹 クボタ マサキ	建築環境工学Ⅰ・Ⅱ、建築設備Ⅰ・Ⅱ 他	建築環境工学
助教 博士(工学)	森田 健太郎 モリタ ケンタロウ	建築構法、建築設計演習Ⅱ・Ⅳ 他	都市計画学
助教 修士(工学)	佐土原 洋平 サドハラ ヨウヘイ	都市計画、建築設計演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ 他	都市計画学
助教 博士(学術)	高木 蘭絹子 タカギ マキコ	日本建築史、西洋建築史、建築設計演習Ⅲ 他	近代建築史
助教 博士(工学)	徳野 将士 トクノ ショウシ	メカトロニクス基礎Ⅰ・Ⅱ、 システム制御工学 他	ロボット工学
嘱託教授 工学博士	菅 沼 明 スガヌマ アキラ	数値計算法Ⅰ・Ⅱ、コンパイラ 他	ソフトウェア工学
嘱託教授 博士(工学)	江頭 成人 エガシラ ナルト	制御工学Ⅰ・Ⅱ 他	自動制御
嘱託准教授 博士(学術)	森 紳太郎 モリ シンタロウ	電子工学実験Ⅰ、情報理論Ⅰ・Ⅱ 他	光導波路

非常勤教員

氏名	担当教科目	備考
吉田正道 ヨシダ マサミチ	機械システム要素、熱力学概論、ものづくり基礎Ⅱ	有明高専名誉教授
南明宏 ミナミ アキヒロ	材料学Ⅱ～Ⅲ、溶融加工、専門工学実験Ⅲ、 基礎塑性力学	有明高専名誉教授
佐々木伸一 ササキ シンイチ	通信工学	元佐賀大学准教授
近藤一輝 コンドウ カズキ	データベース	(株)ASKプロジェクト
大塩悠貴 オオシオ ユウキ	人工知能	(株)ASKプロジェクト
中村隆司 ナカムラ タカシ	建築生産、建築生産システム	(株)ピーディーシステム
井上貴明 イノウエ タカアキ	建築設計演習Ⅳ、建築法規	みやこ井上建築 一級建築士事務所
星田歩 ホシダ アユム	建築設計演習Ⅱ	スケラアーキテクト
青田興明 アオタ タツアキ	建築設計演習Ⅴ	青田興明建築設計事務所



	授業科目 Subjects	単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備考 Notes	
			1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th		
必修科目 Required Subjects	工学基礎 Basic Engineering	工学基礎Ⅰ Basic Engineering I	1	1				共通科目	
		工学基礎Ⅱ Basic Engineering II	1	1				共通科目	
		工学基礎Ⅲ Basic Engineering III	1		1			共通科目	
		製図 Drawing	1	1				共通科目	
		情報リテラシーⅠ Information Literacy I	2	2				共通科目	
		情報リテラシーⅡ Information Literacy II	1		1			共通科目	
		創造工学実験実習 Experiments and Exercises in Creative Engineering	1	1				共通科目	
		地元学 Local Community Analysis	1		1			共通科目	
		アントレプレナーシップ入門 Introduction to Entrepreneurship	1		1			共通科目	
		課題研究 Exercises on Engineering	1			1		共通科目	
		専門基礎演習 Basic Exercise for Engineering	1		1			共通科目	
		専門創造演習 Creative Practice for Engineering	1			1		共通科目	
	人間・福祉工学系共通 Human and Welfare Engineering	応用物理学 Applied Physics	4			4		共通科目	
		応用数学Ⅰ Applied Mathematics I	2			2		共通科目	
		応用数学Ⅱ Applied Mathematics II	1			1		共通科目	
		技術者倫理 Engineering Ethics	1				1	共通科目・30H+15H/単位	
		高齢者福祉論 Social Services for the Elderly	1		1			系共通	
		福祉人間工学 Human Welfare Engineering	1			1		系共通・30H+15H/単位	
		創造設計基礎演習 Basic Exercise for Creative design	1			1		系共通・30H+15H/単位	
		情報福祉工学 Information Welfare Engineering	1				1	系共通・30H+15H/単位	
		専門基礎 Specialized Subjects	機械基礎製図Ⅰ Mechanical Basic Design I	2		2			
			機械基礎製図Ⅱ Mechanical Basic Design II	3			3		
	ものづくり基礎Ⅰ Basic Manufacturing I		2		2				
	ものづくり基礎Ⅱ Basic Manufacturing II		3			3			
	機構と要素 Mechanism and Elements		2			2			
	材料学Ⅰ Materials I		1			1			
	材料力学Ⅰ Strength of Materials I		2			2			
	熱力学 Thermodynamics		2				2	15H+30H/単位	
	水力学 Hydraulics		2				2	15H+30H/単位	
	計測制御Ⅰ Measurement and Control I		1				1		
	構造・力学 Structure and Dynamics	メカトロニクス基礎Ⅰ Basic Mechatronics I	1				1		
		材料学Ⅱ Materials II	2			2		15H+30H/単位	
材料学Ⅲ Materials III		1			1		30H+15H/単位		
材料力学Ⅱ Strength of Materials II		2			2		15H+30H/単位		
材料力学Ⅲ Strength of Materials III		2			2		15H+30H/単位		
機械要素設計 Design of Machine Elements		2			2		15H+30H/単位		
機械力学 Mechanical Dynamics		2				2	15H+30H/単位		
流体力学 Fluid Dynamics		1				1	30H+15H/単位		
基礎塑性力学 Basic Mechanics of Plasticity		2				2	15H+30H/単位		
加工 Working		精密加工 Precision Manufacturing	2			2			
	溶融加工 Melting and Fusion Processing	2				2	15H+30H/単位		
制御 Control	メカトロニクス基礎Ⅱ Basic Mechatronics II	1				1			
	コンピュータ工学 Computer Engineering	1				1			
	数値計算法 Numerical Computation	1				1	30H+15H/単位		
	計測制御Ⅱ Measurement and Control II	1			1		30H+15H/単位		
総合 Composition	計測制御Ⅲ Measurement and Control III	2				2	15H+30H/単位		
	創造設計演習Ⅰ Exercise for Creative Design I	2			2		45H+0H/単位		
	創造設計演習Ⅱ Exercise for Creative Design II	3				3			
	専門工学実験Ⅰ Experiments in Engineering I	1			1		45H+0H/単位		
	専門工学実験Ⅱ Experiments in Engineering II	1			1		45H+0H/単位		
卒業研究 Graduation Research	専門工学実験Ⅲ Experiments in Engineering III	2				2	45H+0H/単位		
	卒業研究Ⅰ Graduation Research I	3				3			
	卒業研究Ⅱ Graduation Research II	9				9			
	小計 Subtotal	91	6	9	20	30	26		
選択科目 Elective Subjects	専門基礎 Basic Exercise	工業英語 Technical English	1				1	30H+15H/単位	
		伝熱工学 Heat Transfer Engineering	1				1	30H+15H/単位	
	エネルギー Energy	流体工学 Fluid Engineering	2				2	15H+30H/単位	
		電気電子工学Ⅰ Electrical-Electronics Engineering I	1				1	30H+15H/単位	
		電気電子工学Ⅱ Electrical-Electronics Engineering II	1				1	30H+15H/単位	
	機械選択 Mechanical Engineering	メカトロニクス応用 Applied Mechatronics	2				2	学修単位・4科目から 2科目選択 15H+30H/単位	
		システム制御工学 Systems and Control Engineering	2				2		
		内燃機関 Internal Combustion Engine	2				2		
		生産システム工学 Production System Engineering	2				2		
		小計 Subtotal	14	0	0	0	0	14	
	開設単位数 Total of Credits Offered		105	6	9	20	30	40	
	修得可能単位数 Earnable Credit		101	6	9	20	30	36	
授業外科目	学外実習 Extramural Practice	1(2)				1(2)			
	特別講義 Special Lecture	1							
	特別学修（専門科目）Ⅰ	1					履修に関する事項は別に定める		
	特別学修（専門科目）Ⅱ	2							
	特別学修（専門科目）Ⅲ	3							
	特別学修（専門科目）Ⅳ	4							
他高専・大学の開講科目（専門科目）		他高専・他大学で修得した科目の単位数		履修に関する事項は別に定める					

※備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。



	授業科目 Subjects	単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備考 Notes
			1年1st	2年2nd	3年3rd	4年4th	5年5th	
必修科目 Required Subjects	工学基礎 Basic Engineering	工学基礎Ⅰ Basic EngineeringⅠ	1	1				共通科目
		工学基礎Ⅱ Basic EngineeringⅡ	1	1				共通科目
		工学基礎Ⅲ Basic EngineeringⅢ	1		1			共通科目
		製図 Drawing	1	1				共通科目
		情報リテラシーⅠ Information LiteracyⅠ	2	2				共通科目
		情報リテラシーⅡ Information LiteracyⅡ	1		1			共通科目
		創造工学実験実習 Experiments and Exercises in Creative Engineering	1	1				共通科目
		地元学 Local Community Analysis	1		1			共通科目
		アントレプレナーシップ入門 Introduction to Entrepreneurship	1		1			共通科目
		課題研究 Exercises on Engineering	1			1		共通科目
		専門基礎演習 Basic Exercise for Engineering	1		1			共通科目
		専門創造演習 Creative Practice for Engineering	1			1		共通科目
		応用物理学 Applied Physics	4			4		共通科目
	応用数学Ⅰ Applied MathematicsⅠ	2				2	共通科目	
	応用数学Ⅱ Applied MathematicsⅡ	1				1	共通科目	
	技術者倫理 Engineering Ethics						1 共通科目・30H+15H/単位	
	人間・福祉工学系共通 Human and Welfare Engineering	高齢者福祉論 Social Services for the Elderly	1			1		系共通
		福祉人間工学 Human Welfare Engineering	1			1		系共通・30H+15H/単位
		創造設計基礎演習 Basic Exercise for Creative design	1			1		系共通・30H+15H/単位
		情報福祉工学 Information Welfare Engineering	1				1	系共通・30H+15H/単位
	情報工学系 Information Engineering	プログラミングⅠ ProgrammingⅠ	1		1			
		プログラミングⅡ ProgrammingⅡ	2			2		
		アルゴリズムⅠ Algorithms and Data StructuresⅠ	1			1		30H+15H/単位
		アルゴリズムⅡ Algorithms and Data StructuresⅡ	1			1		30H+15H/単位
		離散数学Ⅰ Discrete MathematicsⅠ	1			1		30H+15H/単位
		離散数学Ⅱ Discrete MathematicsⅡ	1			1		30H+15H/単位
		数値計算法Ⅰ Numerical ComputationⅠ	1			1		30H+15H/単位
		システムプログラム System Programming	2				2	15H+30H/単位
情報システム演習Ⅰ Information Systems ExercisesⅠ		1		1				
情報システム演習Ⅱ Information Systems ExercisesⅡ		2			2			
情報システム演習Ⅲ Information Systems ExercisesⅢ		1				1		
情報システム演習Ⅳ Information Systems ExercisesⅣ	1				1			
電子工学系 Electronics	電気電子工学基礎 Fundamental Electric and Electronic Engineering	1		1				
	電気電子工学演習 Electric and Electronic Exercises	1		1				
	論理回路 Logic Circuits	2			2			
	電気回路Ⅰ Electric CircuitsⅠ	2			2			
	電気回路Ⅱ Electric CircuitsⅡ	1			1		30H+15H/単位	
	電子回路Ⅰ Electronic CircuitsⅠ	2			2		15H+30H/単位	
	電子回路Ⅱ Electronic CircuitsⅡ	1			1		30H+15H/単位	
	半導体工学 Semiconductor Engineering	2			2		15H+30H/単位	
	電子工学実験Ⅰ Electronics ExperimentⅠ	3			3			
	電子工学実験Ⅱ Electronics ExperimentⅡ	1			1		45H+0H/単位	
電子工学実験Ⅲ Electronics ExperimentⅢ	1			1		45H+0H/単位		
電磁気学 Electromagnetism	2				2	15H+30H/単位		
システム工学系 System Engineering	情報処理システム Information Processing Systems	1			1			
	コンピュータアーキテクチャⅠ Computer ArchitectureⅠ	1			1		30H+15H/単位	
	コンピュータアーキテクチャⅡ Computer ArchitectureⅡ	1			1		30H+15H/単位	
	情報ネットワーク Information Networks	2			2		15H+30H/単位	
	組み込みシステム実験Ⅰ Embedded System ExperimentⅠ	1				1	45H+0H/単位	
	組み込みシステム実験Ⅱ Embedded System ExperimentⅡ	1				1	45H+0H/単位	
卒業研究 Graduation Research	卒業研究Ⅰ Graduation ResearchⅠ	2				2		
	卒業研究Ⅱ Graduation ResearchⅡ	8				8		
	小計 Subtotal	76	6	9	19	26	16	
選択科目 Elective Subjects	情報工学系 Information Engineering	コンパイラ Compiler	2				2	15H+30H/単位
		ソフトウェア工学 Software Engineering	2				2	15H+30H/単位
		信号処理 Signal Processing	2				2	15H+30H/単位
		データベース Database	2				2	15H+30H/単位
		人工知能 Artificial Intelligence	2				2	15H+30H/単位
		情報理論Ⅰ Information TheoryⅠ	1				1	30H+15H/単位
		情報理論Ⅱ Information TheoryⅡ	1				1	30H+15H/単位
		数値計算法Ⅱ Numerical ComputationⅡ	1				1	30H+15H/単位
	システム工学系 System Engineering	制御工学Ⅰ Control EngineeringⅠ	1				1	30H+15H/単位
		制御工学Ⅱ Control EngineeringⅡ	1				1	30H+15H/単位
		通信工学 Communication Engineering	2				2	15H+30H/単位
		小計 Subtotal	17	0	0	0	0	17
		開設単位数 Total of Credits Offered	93	6	9	19	26	33
修得可能単位数 Earnable Credit		93	6	9	19	26	33	
授業外科目	学外実習 Extramural Practice	1(2)				1(2)		
	特別講義 Special Lecture	1				1		
	特別学修（専門科目）Ⅰ	1					履修に関する事項は別に定める	
	特別学修（専門科目）Ⅱ	2						
	特別学修（専門科目）Ⅲ	3						
	特別学修（専門科目）Ⅳ	4						
他高専・大学の開講科目（専門科目）						他高専・他大学で修得した科目の単位数 履修に関する事項は別に定める		

※備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。



	授 業 科 目 Subjects	単位数 Number of Credits	学 年 別 配 当 Number of Credits by Grades					備 考 Notes
			1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	
工学基礎 Basic Subjects	工学基礎Ⅰ Basic Engineering I	1	1					共通科目
	工学基礎Ⅱ Basic Engineering II	1	1					共通科目
	工学基礎Ⅲ Basic Engineering III	1		1				共通科目
	製図 Drawing	1	1					共通科目
	情報リテラシーⅠ Information Literacy I	2	2					共通科目
	情報リテラシーⅡ Information Literacy II	1		1				共通科目
	創造工学実験実習 Experiments and Exercises in Creative Engineering	1	1					共通科目
	地元学 Local Community Analysis	1		1				共通科目
	アントレプレナーシップ入門 Introduction to Entrepreneurship	1		1				共通科目
	課題研究 Exercises on Engineering	1			1			共通科目
専門基礎演習 Basic Exercise for Engineering	1		1				共通科目	
専門創造演習 Creative Practice for Engineering	1			1				
応用物理学 Applied Physics	4			4				共通科目
応用数学Ⅰ Applied Mathematics I	2				2			共通科目
応用数学Ⅱ Applied Mathematics II	1				1			共通科目
技術者倫理 Engineering Ethics						1		共通科目・30H+15H/単位
人間・福祉工学系共通 Human and Welfare Engineering	高齢者福祉論 Social Services for the Elderly	1			1			系共通
	福祉人間工学 Human Welfare Engineering	1			1			系共通・30H+15H/単位
	創造設計基礎演習 Basic Exercise for Creative design	1			1			系共通・30H+15H/単位
	情報福祉工学 Information Welfare Engineering	1				1		系共通・30H+15H/単位
計画系 Planning	住環境計画 Dwelling Environmental Planning	1			1			
	建築計画Ⅰ Architectural Planning I	1			1			
	建築計画Ⅱ Architectural Planning II	2				2		15H+30H/単位
	福祉環境計画 Welfare Environment Planning	2					2	15H+30H/単位
	日本建築史 History of Japanese Architecture	1			1			
	西洋建築史 History of European Architecture	1				1		30H+15H/単位
	都市計画 City Planning	1				1		30H+15H/単位
	近代建築史 History of Modern Architecture	1					1	30H+15H/単位
環境系 Environment	建築環境工学Ⅰ Environmental Engineering in Architecture I	2			2			
	建築環境工学Ⅱ Environmental Engineering in Architecture II	2				2		15H+30H/単位
	建築設備Ⅰ Building Environment I	2					2	15H+30H/単位
	建築設備Ⅱ Building Environment II	1					1	30H+15H/単位
構造系 Structure	構造力学Ⅰ Structural Mechanics I	2			2			
	構造力学Ⅱ Structural Mechanics II	2				2		15H+30H/単位
	構造力学Ⅲ Structural Mechanics III	2				2		15H+30H/単位
	材料力学 Strength of Materials	1			1			
	鉄筋コンクリート構造Ⅰ Reinforced Concrete Structure I	1				1		30H+15H/単位
	鉄筋コンクリート構造Ⅱ Reinforced Concrete Structure II	1				1		30H+15H/単位
	鋼構造Ⅰ Steel Structures I	1				1		30H+15H/単位
	鋼構造Ⅱ Steel Structures II	1				1		30H+15H/単位
	構造計画 Structural Design	1					1	30H+15H/単位
	建築振動学 Structural Dynamics	1					1	30H+15H/単位
生産系 Production	基礎構造 Foundation Structures	1					1	30H+15H/単位
	建築構法 Building Construction	1		1				
	建築材料Ⅰ Building Materials I	1			1			
	建築材料Ⅱ Building Materials II	1				1		30H+15H/単位
	建築生産 Building Production	2					2	15H+30H/単位
実験 Experiment	建築法規 Building Code	2					2	15H+30H/単位
	建築材料実験 Experiment of Building Materials	1				1		45H+0H/単位
	建築実験実習 Architectural Experiment and Practice	1					1	45H+0H/単位
	建築設計演習Ⅰ Architectural Design and Drawing I	2		2				
設計 Design	建築設計演習Ⅱ Architectural Design and Drawing II	3			3			
	建築設計演習Ⅲ Architectural Design and Drawing III	3				3		30H+15H/単位
	建築設計演習Ⅳ Architectural Design and Drawing IV	3				3		30H+15H/単位
	卒業設計 Graduation Design	4					4	
総合 Composition	設備設計演習 Exercises in Building Environment Design	4					4	3科目から1科目選択
	構造設計演習 Exercises in Structural Design	4					4	
	卒業研究Ⅰ Graduation Research I	1				1		
卒業研究 Graduation Research	卒業研究Ⅱ Graduation Research II	8					8	
	小計 Subtotal	97	6	8	19	28	36	
選択科目 Elective Subjects	計画系 Planning	空間デザイン Spatial Design	1		1			
	設計 Design	都市デザイン Urban Design	1				1	30H+15H/単位
		ユニバーサルデザイン Universal Design	1				1	30H+15H/単位
		建築設計演習Ⅴ Architectural Design and Drawing V	2				2	30H+15H/単位
	小計 Subtotal	5	0	1	0	0	4	
開設単位数 Total of Credits Offered		102	6	9	19	28	40	
修得可能単位数 Earnable Credit		94	6	9	19	28	32	
授業外科目	学外実習 Extramural Practice	1(2)					1(2)	
	特別講義 Special Lecture	1					1	
	特別学修（専門科目）Ⅰ	1						履修に関する事項は別に定める
	特別学修（専門科目）Ⅱ	2						
	特別学修（専門科目）Ⅲ	3						
	特別学修（専門科目）Ⅳ	4						
	他高専・大学の開講科目（専門科目）							

※備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。



▲文学Ⅰの授業



▲LLによる英語の授業

高専の目的は広い視野をもった高度な実践的技術者を養うことであり、その技術を修得するための基礎を学ぶ科目と豊かな教養と体力を身につけるための科目を担当しているのが一般教育科です。

高校から大学2年程度までの科目を5年間の一貫教育のなかで、学生の発達段階に応じて教授するようになっています。国語・社会・外国語・体育・数学・理科等の教員がそれぞれ専門とする分野を担当し、各教科を通じて学生の基礎学力の養成に日々創意工夫を凝らして努力しています。

常勤教員

職名	氏名	担当教科目	専門分野
講師 博士(文学)	藤崎 祐二 フジサキ ユウジ	文学Ⅰ、文学特講Ⅰ・Ⅱ	日本上代文学
講師 修士(文学)	山田 高明 ヤマダ タカアキ	文学Ⅱ、日本語コミュニケーション	日本語学
教授 修士(教育学)	谷口 光男 タニグチ ミツオ	歴史学Ⅰ・Ⅱ、現代社会Ⅱ、社会科学	アイルランド中世史
助教 博士(文学)	竹本 仁美 タケモト ヒトミ	地理学、現代社会Ⅱ、環境科学、地球環境	自然地理学
助教 博士(学術)	藤原 拓広 フジワラ タクヒロ	現代社会Ⅰ・Ⅱ、人間科学、国際文化	政治哲学
教授 文学修士	三戸 健司 ミト ケンジ		英語学
教授 博士(文学)	村田 和穂 ムラタ カズホ		英語文献学
教授 哲学修士	GRUMBINE RICHARD THOMAS グランバイン リチャード トーマス	英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、英語A・B 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、 一般技術英語、英語特講、実践英語	英語教育
教授 修士(文学)	山崎 英司 ヤマサキ エイジ		アメリカ文学
助教 修士(応用言語学)	下川 涼太 シモカワ リョウタ		応用言語学
准教授 修士(体育科学)	野口 欣照 ノグチ ヨシアキ	保健体育、体育実技	方法学

常勤教員

職名	氏名	担当教科目	専門分野
講師 修士(人間環境学)	入部 祐郁 イリベ ユカ	保健体育、体育実技	運動生理学
教授 博士(数理学)	西山 治利 ニシヤマ ハルトシ		数理統計学
教授 博士(工学)	田中 彰則 タナカ アキノリ		統計物理学
准教授 博士(工学)	高本 雅裕 タカモト マサヒロ	基礎解析学、基礎数学、 解析学Ⅰ・Ⅱ、代数・幾何Ⅰ・Ⅱ、 統計学、応用数学Ⅰ・Ⅱ、 情報リテラシー	統計物理学
准教授 博士(理学)	青影 一哉 アオカゲ カズヤ		代数学
准教授 博士(理学)	田端 亮 タバタ リョウ		解析学
助教 修士(数理学)	高林 佑馬 タカバヤシ ユウマ		解析学、数理物理
教授 博士(工学)	嘉藤 直子 カトウ ナオコ		ソフトウェア工学
教授 博士(工学)	松尾 明洋 マツオ アキヒロ	化学Ⅰ・Ⅱ、理科基礎	化学
准教授 博士(理学)	古川 一輝 フルカワ カズキ		化学
教授 博士(工学)	酒井 健 サカイ タケシ		固体物理学
教授 博士(工学)	竹内 伯夫 タケウチ ノリオ	基礎物理学、応用物理学	プラズマ物理学
准教授 博士(工学)	鮫島 朋子 サメシマ トモコ		非線形物理学
嘱託教授 博士(工学)	村岡 良紀 ムラオカ ヨシノリ	基礎解析学、解析学Ⅰ・Ⅱ、 統計学、フーリエ解析	統計物理学

非常勤教員

氏名	担当教科目	備考
三宅 かずみ ミヤケ カズミ	芸術 A (音楽)	大牟田市文化芸術振興審議会委員
田上 莉奈 タノウエ リナ	芸術 B (美術)	
岡 紀子 オカ ノリコ	英語Ⅰ、英語コミュニケーション A	高等学校非常勤講師
佐藤 佳代子 サトウ カヨコ	英語Ⅱ、Ⅳ	高等学校非常勤講師
Pashley James Edward パシエリー ジェームズ エドワード	英語Ⅱ	
寺田 佳加 テラダ ヨシカ	英語Ⅲ	
安保 博史 アボウ ヒロシ	文学Ⅲ	群馬県立女子大学名誉教授
井上 明子 イノウエ アキコ	基礎数学	高等学校非常勤講師
水元 洋 ミズモト ヨウ	解析学Ⅱ、応用数学Ⅱ	(株)CRS 講師
藤吉 洋子 フジヨシ ヨウコ	体育Ⅱ、体育 A・B	中学校非常勤講師
井上 仁志 イノウエ ヒトシ	保健、体育Ⅰ、体育 A・B	有明高専名誉教授
下山 真由美 シモヤマ マユミ	日本語コミュニケーション、日本語	他大学非常勤講師
劉 佳寧 リュウ カネイ	第二外国語	

教育課程（一般科目） Curriculum (General Education)

授業科目 Subjects		単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades					備考 Notes	
			1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th		
必修科目 Required Subjects	国語 Japanese	文学Ⅰ Literature I	2	2					
		文学Ⅱ Literature II	2		2				
		文学Ⅲ Literature III	2			2		留学生以外に対して開講	
		日本語 Japanese	2					留学生に対して開講	
	数学 Mathematics	日本語コミュニケーション Japanese Communication	2			2			
		基礎解析学 Fundamental Analysis	4	4					
		基礎数学 Fundamental Mathematics	2	2					
		解析学Ⅰ Analysis I	4		4				
		解析学Ⅱ Analysis II	4			4			
		代数・幾何Ⅰ Algebra and Geometry I	2		2				
		代数・幾何Ⅱ Algebra and Geometry II	1			1			
		統計学 Statistics	1			1			
	理科 Science	基礎物理学Ⅰ Fundamental Physics I	2	2					
		基礎物理学Ⅱ Fundamental Physics II	2		2				
		理科基礎 Basic Science	2	2					
		化学Ⅰ Chemistry I	2	2					
	社会 Social Studies	化学Ⅱ Chemistry II	2		2				
		地理学 Geography	2	2					
		歴史学Ⅰ History I	2		2				
現代社会Ⅰ Modern and Contemporary Society I		2		2					
体育 Physical Education	現代社会Ⅱ Modern and Contemporary Society II	2			2		留学生以外に対して開講		
	日本事情 Japanese Culture and Affairs	2					留学生に対して開講		
	保健 Health Education	2	2						
	体育Ⅰ Physical Education I	2	2						
外国語 Foreign Languages	体育Ⅱ Physical Education II	2		2					
	英語Ⅰ English I	4	4						
	英語Ⅱ English II	2	2						
	英語Ⅲ English III	4		4					
	英語Ⅳ English IV	2		2					
	英語コミュニケーションA English Communication A	2			2				
	英語コミュニケーションB English Communication B	2			2				
	英語A English A	2				2			
英語B English B	2				2				
小計 Subtotal		70	26	24	14	6	0		
選択科目 Elective Subjects	芸術 Arts	芸術A Arts A	1	1					
		芸術B Arts B	1	1					
	体育 Physical Education	体育Ⅲ Physical Education III	2			2		実技	
		国語 Japanese	日本語の表現技法Ⅰ Japanese Composition I	2				2	15H+30H/単位
	日本語の表現技法Ⅱ Japanese Composition II		2				2	15H+30H/単位	
	文学特講Ⅰ Lecture on Literature I		2				2	15H+30H/単位	
	文学特講Ⅱ Lecture on Literature II		2				2	15H+30H/単位	
	社会 Social Studies		社会科学 Social Science	2				2	15H+30H/単位
			歴史学Ⅱ History II	2				2	15H+30H/単位
			人間科学 Human Science	2				2	15H+30H/単位
		国際文化 International Cultures	2				2	15H+30H/単位	
	外国語 Foreign Languages	環境科学 Environmental Science	2				2	15H+30H/単位	
		地球環境 Global Environment	2				2	15H+30H/単位	
		英語コミュニケーションⅠ English Communication I	2				2	15H+30H/単位	
		英語コミュニケーションⅡ English Communication II	2				2	15H+30H/単位	
	数学 Mathematics	第二外国語 Second Foreign Languages	2				2	15H+30H/単位	
		一般技術英語 Technical English	2				2	15H+30H/単位	
		数学特講Basic Topics in Mathematics (Basic)	2				2	15H+30H/単位	
		数学特講Advanced Topics in Mathematics (Advanced)	2				2	15H+30H/単位	
代数学特講 Topics in Algebra		2				2	15H+30H/単位		
複素関数論 Complex Analysis		2				2	15H+30H/単位		
ベクトル解析 Vector Analysis		2				2	15H+30H/単位		
フーリエ解析 Fourier Analysis		2				2	15H+30H/単位		
理科 Science	物理学特講 Advanced course in Physics	2				2	15H+30H/単位		
	化学特講 Advanced course in Chemistry	2				2	15H+30H/単位		
体育 Physical Education	体育A Physical Education A	1				1			
	体育B Physical Education B	1				1			
小計 Subtotal		50	2	0	2	46			
開設単位数 Total of Credits Offered		120	28	24	16	52			
修得可能単位数 Earnable Credit		90	28	24	16	22			
授業外科目	特別学修（一般科目）Ⅰ	1	履修に関する事項は別に定める						
	特別学修（一般科目）Ⅱ	2							
	特別学修（一般科目）Ⅲ	3							
	他高専・大学の開講科目（一般科目）		他高専・他大学で修得した科目の単位数					履修に関する事項は別に定める	

* 1 第4・5学年で14科目の中から4科目（最大8単位）まで修得可能

* 2 第4・5学年で10科目の中から4科目（最大8単位）まで修得可能

※ 備考欄での「aH+bH/単位」の表記は4・5年における学修単位で、1単位につきa時間の授業とb時間の自学が含まれることを意味します。



▲合同特別実験（エンジンの分解組立、
タイからのインターンシップ学生も参加中）



▲創造設計合同演習（商品の改善提案と製作）

専攻科では、高専の卒業生を主な対象として2年間の発展的な工学教育を行い、21世紀の高度科学技術時代、高度情報化時代を担う創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者の育成を目指しています。本校では機械工学、電気工学及び電子・情報工学が密接に関与する「生産情報システム工学専攻」、物質工学と生物工学に関する「応用物質工学専攻」及び「建築学専攻」の3専攻を設けています。

本専攻科の修了時には大学評価・学位授与機構の認定を得て、学士（工学）の学位を取得できます。

3つのポリシー

【ディプロマ・ポリシー（DP）：修了認定の方針】

次のような創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者の育成を目的とした、専攻科の全課程を修了した人に対し、修了証書を授与します。

- 1) 物事を多面的に考察できる力、社会における技術者の責任を自覚できる高い倫理観、及び優れたコミュニケーション能力を備えた高度な技術者
- 2) 工学の基礎知識、工学の専門知識及び高度に融合された学際的知識を有し、実践力に富む高度な技術者
- 3) 課題の探究能力に優れ、またその課題を解決する方法を提案できる高度な技術者

生産情報システム工学専攻

高度科学技術社会における諸課題や国際的なエネルギー・環境問題を論理的に思考して解決する力を有し、機械・電気・情報工学の基礎を基盤とした融合的かつ学際的な専門知識を修得して課題に対応できるとともに、高い倫理観と幅広い視野および国際性を備えて主体的に行動できる能力

応用物質工学専攻

化学技術およびバイオテクノロジーの進展に対応できる知識と技術を基盤に、化成品・材料・食品・医薬品等の開発や製造に応用し、基礎的・専門的学力や学際的な知識を活用して環境に配慮したものづくりを実践するとともに、工業生産活動におけるニーズとシーズを的確に捉え、国際性を備えて主体的に行動できる能力

建築学専攻

計画・環境系または構造・生産系のいずれかに重点を置いた高度な実践的技術を有し、建築分野における諸問題を的確に捉えて論理的に思考して解決に導く実践的技術センスを備え、さらに建築分野にとどまらず他分野の課題にも柔軟かつ主体的に対応できる能力

【カリキュラム・ポリシー（CP）：教育課程のつくり方・実施方法の方針】

専攻科では、DPで示している人材を養成するため、次のような特色ある方針により各専攻の教育課程を編成・実施します。

《成績評価の方法》

- (1) 授業形態が「授業」の科目では、各科目の到達目標に基づき、定期試験、ポートフォリオ、発表など、各科目で定める評価方法による結果を用いて、学修成果の達成度を評価します。
- (2) 授業形態が「実験・実習」及び「演習」の科目では、各科目の到達目標に基づき、発表、ポートフォリオなど、各科目で定める方法により学修成果の達成度を評価します。
- (3) 特別研究では、到達目標に基づき、研究成果をまとめた論文、研究発表および取り組み状況を踏まえ、学修成果の達成度を総合的に評価します。

《成績の評価および単位認定基準》

各科目の学修成果は、「成績評価の方法」に基づき定められた評価方法により総合的に評価します。

各科目における具体的な到達目標および評価方法はシラバスに記載しています。

成績は100点法または合否により行い、100点法においては60点以上、合否においては「合」の評価をもって単位を認定します。

- 1) 多面的な考察力、高い倫理観を身につけた技術者を育成するための科目を配置します。
- 2) 優れたコミュニケーション能力を身につけるために語学系の科目やその能力を訓練する科目を配置します。
- 3) 工学の基礎知識を身につけた技術者を育成するために、全専攻に共通した専門基礎科目を配置します。
- 4) 工学の専門知識を身につけた技術者を育成するための科目を配置します。
- 5) 工学における学際的な知識を身につけた技術者を育成するために、3専攻において複合的・学際的な科目を配置します。
- 6) 実践力を身につけた技術者を育成するための科目を配置します。
- 7) 課題に対する探究力、課題に対応できるデザイン能力を育成するための実習・演習系科目を配置します。

各専攻共通

- (A-1)多面的考察力をもった学生を育成するため、一般文系科目である英語特講、人文社会科学特論などを配置します。(CP1)
(A-2)高い倫理観をもった学生を育成するため、環境関連科目である環境科学特講、環境調整学、環境工学概論などを配置します。(CP1)
(A-3)日本語や外国語による優れたコミュニケーション能力を有する学生を育成するため、語学系科目である実践英語、国語表現、発表資料のプレゼンテーションやそれに対する的確な質疑応答が求められる創造設計合同演習、特別研究Ⅰ、Ⅱなどを配置します。(CP2)

生産情報システム工学専攻

- (B-1)工学の基礎知識をもち、それらをそれぞれの専門で応用できる学生を育成するため、専門基礎科目である応用数理Ⅰ、Ⅱ、総合科学、基礎工学科目である実用情報処理、工業基礎力学、電子物性工学、設備設計、デジタル回路設計、材料科学などを配置します。(CP3)
生産情報システム工学専攻には、電気電子工学、機械工学、情報工学を専門分野とする学生が所属しています。(B-2)各専門分野の知識・技術をもった学生を育成するため、つぎのような各専門分野の科目、エネルギー変換工学概論、アルゴリズム論、サーキットデザイン、自動生産システム、デジタル制御、画像処理工学、応用電子回路工学、ソフトウェア開発管理論、情報通信工学などを配置します。(CP4)
(B-4)工学の学際的知識を専門で活用できる、すなわち、複眼的な視野を広げ、異分野の知識・技術を専門知識に活用できる学生を育成するため、電気電子工学の学生を対象に、機械システム要素、情報ネットワーク概論など、機械工学の学生を対象に、電気機器概論、情報ネットワーク概論など、情報工学の学生を対象に、メカトロニクス概論、電気機器概論など、さらに全学生を対象とした、分子生物学、材料工学概論、ユニバーサルデザインなどを配置します。(CP5)
(B-3)実働を計画的かつ確実に行える実践力をもった学生を育成するため、実技系科目として、生産情報システム特別実験、合同特別実験などを配置します。(CP6)
(C-1)さまざまな課題に対する探求力をもった学生を育成するため、特別実習Ⅰ、Ⅱ、生産情報システム特別研究Ⅰ、Ⅱ、基礎設計特別演習、創造設計特別演習などを配置します。(CP7)
(C-2)さまざまな課題に対応できるデザイン能力、課題解決力をもった学生を育成するため、生産情報システム特別研究Ⅰ、Ⅱ、創造設計合同演習、創造設計特別演習などを配置します。(CP7)

応用物質工学専攻

- (B-1)工学の基礎知識をもち、それらをそれぞれの専門で応用できる学生を育成するため、専門基礎科目である応用数理Ⅰ、Ⅱ、総合科学、基礎工学科目である実用情報処理、材料科学、工業基礎力学などを配置します。(CP3)
応用物質工学専攻には物質工学と生物工学を専門分野とする学生が所属しています。(B-2)各専門分野の知識・技術をもった学生を育成するため、有機合成化学、応用分析化学、分子構造解析学、無機構造化学、応用化学工学などを配置します。(CP4)
(B-4)工学の学際的知識を専門で活用できる、すなわち、複眼的な視野を広げ、異分野の知識・技術を専門知識に活用できる学生を育成するため、地域協働特論、電気電子工学概論、熱力学概論、情報ネットワーク概論、ユニバーサルデザインなどを配置します。(CP5)
(B-3)実働を計画的かつ確実に行える実践力をもった学生を育成するため、実技系科目として、応用物質工学特別実験Ⅰ、Ⅱ、合同特別実験などを配置します。(CP6)
(C-1)さまざまな課題に対する探求力をもった学生を育成するため、特別実習Ⅰ、Ⅱ、応用物質工学特別研究Ⅰ、Ⅱなどを配置します。(CP7)
(C-2)さまざまな課題に対応できるデザイン能力、課題解決力をもった学生を育成するため、応用物質工学特別研究Ⅰ、Ⅱ、創造設計合同演習などを配置します。(CP7)

建築学専攻

- (B-1)工学の基礎知識をもち、それらをそれぞれの専門で応用できる学生を育成するため、専門基礎科目である応用数理Ⅰ、Ⅱ、総合科学、基礎工学科目である実用情報処理、材料科学などを配置します。(CP3)
(B-2)専門分野の知識・技術をもった学生を育成するため、建築防災システム工学、都市・空間デザイン論、鉄筋コンクリート構造特論、都市環境マネジメント論、鋼構造特論、建築構造設計論などを配置します。(CP4)
(B-4)工学の学際的知識を専門で活用できる、すなわち、複眼的な視野を広げ、異分野の知識・技術を専門知識に活用できる学生を育成するため、地域協働特論、電気電子工学概論、熱力学概論、情報ネットワーク概論、材料工学概論などを配置します。(CP5)
(B-3)実働を計画的かつ確実に行える実践力をもった学生を育成するため、実技系科目として合同特別実験などを配置します。(CP6)
(C-1)さまざまな課題に対する探求力をもった学生を育成するため、特別実習Ⅰ、Ⅱ、建築学特別研究Ⅰ、Ⅱ、建築設計特別演習Ⅰ、Ⅱなどを配置します。(CP7)
(C-2)さまざまな課題に対応できるデザイン能力、課題解決力をもった学生を育成するため、建築学特別研究Ⅰ、Ⅱ、創造設計合同演習などを配置します。(CP7)

【アドミッション・ポリシー（AP）：入学を求める人の素養】

《求める学生像》

本校専攻科は、豊かな教養と幅広い専門知識、学際的・複合的視野と倫理観、創造性と実践力を身につけた、ものづくりのための高度な実践的技術者を育成することを目指しています。そのため、本専攻科では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた人
- 2) 専門工学に関する知識と創造性に富み、実践力を身につけた人
- 3) 自己啓発・向上能力に富み、技術を通じ社会の発展に寄与できる人
- 4) 多様な価値観を理解し、学際的な分野で活躍できる人
- 5) 国際社会で活躍できる広い視野と教養を備えた人

なお、実社会で活躍しながらキャリアアップしたいと考えている人なども歓迎します。

《入学者選抜の基本方針》

入学者の選抜は、「推薦による選抜」、「推薦による選抜（社会人）」及び「学力による選抜」の3つの方法で行います。

◇ 推薦選抜

推薦による選抜では、高等専門学校卒業見込みで、学業成績及び人物が優れていると認められる人で、本専攻科への適性を有し、合格した場合は必ず入学する人を選抜します。推薦による選抜は、在籍する学校長から提出された推薦書及び調査書、志望調書の内容及びTOEICスコアを総合した書類選抜で行います。専門及び学際分野の基礎知識については調査書、国際社会で活躍できる素養をTOEICスコア及び調査書と志望調書、主体性や実践力、社会の発展に対する意欲などを推薦書、志望調書で総合的に評価します。

◇ 推薦選抜（社会人）

推薦による選抜（社会人）では、出願時において企業等に1年以上在籍した経験があり、所属する企業等の長または出身学校長が、勤務成績または学業成績、人物ともに優れていると認め推薦する人で、本専攻科への適性を有し、合格した場合は必ず入学する人を選抜します。推薦による選抜（社会人）は、所属する企業等の長または出身学校長から提出された推薦書、調査書及び志望調書の内容を総合して書類選抜で行います。専門及び学際分野の基礎知識については調査書、国際社会で活躍できる素養をTOEICスコア及び調査書と志望調書、主体性や実践力、社会の発展に対する意欲などを推薦書、志望調書で総合的に評価します。

◇ 学力選抜

学力検査による選抜では、本専攻科での勉学に必要な素養と基礎学力及び専門基礎知識を備えた人を選抜します。学力選抜は、学力検査の成績、出身（在籍）学校長から提出された調査書及び志望調書を総合して行います。学力検査は筆記試験で、英語（TOEIC換算）、数学及び専門科目です。専門及び学際分野の基礎知識については調査書及び専門科目の筆記試験、国際社会で活躍できる素養を英語及び数学の筆記試験並びに調査書と志望調書、主体性や実践力、社会の発展に対する意欲などを志望調書で総合的に評価します。



生産情報システム工学専攻

現代の工業生産において相互に強く関連し合う機械工学、電気工学、電子情報工学の3分野からなる複合された専攻です。情報化された生産システムを主テーマに学生各人の明確な学習目的のもとに、必要な学識と共同研究や実験により幅広い創造力を養成し、学際的、総合的な課題解決能力を有する技術者の育成を目指しています。

生産情報システム工学専攻では、本科5年間で修得した各々の専門分野をさらに深く勉強します。それに加えて、広く工学分野一般についても見識を深め、複眼的な見方のできる技術者を目指します。そのため、本専攻では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 機械・電気・情報いずれかの専門分野をすでに修め、さらに深く専門分野を勉強する意欲のある人
- 2) 工学の広い分野に興味があり、学際的な領域についても勉強する意欲のある人
- 3) 与えられたテーマの中で、自分の研究を自ら計画し実践していく意欲のある人

教育上の目的

- 1) 高度科学技術社会、国際的なエネルギー問題、環境問題に対応できる論理的思考能力と解決能力を備えた実践的技術者の育成
- 2) 準学士課程での機械、電気、情報工学の基礎的な知識と技術を基に、より高度に融合された機械・電気・情報分野の幅広い専門科目を修得した学際性を備えた実践的技術者の育成
- 3) 高い倫理観をもち、幅広い視野と国際性を備えた実践的技術者の育成



応用物質工学専攻

本専攻では、5年間の教育課程で修得した基礎学力を基盤として、化学技術やバイオ関連技術の進展に対応しうる高度な知識と技術を有する技術者を育成します。また、学際領域にわたる幅広い専門的知識を有し、高い独創力や解析力をもつ科学技術者の人材育成を目指します。

応用物質工学専攻では、高専本科5年間の教育課程で修得した基礎学力を基盤として、化学技術やバイオ関連技術の進展に対応しうる高度な知識と技術を有する技術者の養成を目指しています。そのため、本専攻では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 化学や生物などの自然科学について基本の知識をもち、それを身近な問題に応用できる人
- 2) 学際領域にわたる幅広い専門的知識を修得し、高い独創力や解析能力を身につける意欲がある人
- 3) グローバルな視点で物事を考えることができ、倫理観がある人

教育上の目的

- 1) 化学技術やバイオテクノロジーの進展に対応しうる知識と技術をもち、これを化成品、材料、食品、医薬品などの開発、製造などに展開する能力を有する実践的技術者の育成
- 2) 基礎的・専門的学力と学際領域にわたる幅広い知識を活用して、環境に配慮したものづくりができる実践的技術者の育成
- 3) 工業生産活動におけるニーズとシーズを的確に捉える能力をもち、国際性を備えた実践的技術者の育成



建築学専攻

高専の5年間の課程で修得した実践的技術力を基盤に、高度な専門性や優れた創造性に加えて幅広い工学知識をもった建築技術者の育成を目指しています。すなわち 1) 計画・環境系あるいは構造・生産系のいずれかの領域に重点をおいた高度な実践的技術を教授し、2) 研究活動を中心に設計コンペ応募や企業研修等を通して論理的思考能力や実践的技術センスを育成するとともに、3) 学際領域の専門知識を修得します。

建築学専攻では、本科で修得した一般及び専門の基礎学力を土台として、創造性に富み、かつ実践的技術力の高い建築技術者の育成を目指しています。そのため、本専攻では次のような人の入学を歓迎します。

- 1) 豊かな生活空間の創造に意欲的に取り組める人
- 2) 建築の計画・構造・設備などの基礎的知識を修得している人
- 3) 学際的な幅広い専門知識と設計演習や実験・実習を通じた実践的技術を修得したいと考えている人

教育上の目的

- 1) 計画・環境系あるいは構造・生産系のいずれかに重点を置いた高度な実践的技術を有する人材の育成
- 2) 建築界における諸問題を捉え、解決に導くための論理的思考能力や実践的技術センスを有する人材の育成
- 3) 建築分野のみならず、建築分野以外の領域にまたがる課題に対しても対応できる資質を有する人材の育成



一般科目 (各専攻共通) General Education

授業科目 Subjects		単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades				備考 Notes
			1年 1st		2年 2nd		
			前期	後期	前期	後期	
General Subjects 一般科目	必修 Required Subjects	英語特講 Lecture of English	2	2			
		実践英語 Practical English	2	2			
		必修科目修得単位数計 Total of Credits on Required Subjects	4	2	2		
	選択科目 Elective Subjects	国語表現 Expressions in Japanese	2	2			
		人文社会科学特論 Topics in Humanities and Social Studies	2	2			
選択科目開設単位数計 Total of Credits on Elective Subjects	4		4				
一般科目開設単位数計 Total of Credits Offered on General Subjects		8	2	6			
Basic Subjects 専門基礎科目	選択科目 Elective Subjects	応用数理Ⅰ Applied Mathematics I	2	2			
		応用数理Ⅱ Applied Mathematics II	2		2		
		総合科学 General Science	2		2		
		環境科学特講 Introduction of Environmental Science	2	2			
	専門基礎科目開設単位数計 Total of Credits Offered on Basic Subjects for Engineering	8	4	4			
一般科目及び専門基礎科目開設単位数計 Total of Credits Offered		16	6	10			
他高専・他大学の開講科目 (一般科目) Subjects offered at other KOSEN and universities (General Subjects)			他高専・他大学で修得した科目の単位数		履修に関する事項は別に定める		

専門科目 (生産情報システム工学専攻) Advanced Production and Information Systems Engineering Course

授業科目 Subjects		単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades				備考 Notes	
			1年 1st		2年 2nd			
			前期	後期	前期	後期		
Required Subjects 必修科目	生産情報システム特別研究Ⅰ Thesis Research I	6	3	3				
	生産情報システム特別研究Ⅱ Thesis Research II	6			3	3		
	生産情報システム技術英語 Advanced English for Engineers	2	2					
	合同特別実験 Advanced Experiments Combination	1	1					
	生産情報システム特別実験 Advanced Experiments	1		1				
	基礎設計特別演習 Advanced Exercise for Design Fundamentals	2	1	1				
	創造設計特別演習 Advanced Exercise for Creative Designing	2			2			
	創造設計合同演習 Practice of Creative Design in Interdisciplinary Teams	2		2				
	特別実習Ⅰ Advanced Extramural Practice I	2	2				この科目の単位数は後期に含まれる	
	必修科目修得単位数計 Total of Credits on Required Subjects	24	7	9	5	3		
Basic Subjects 基礎工学	工業基礎力学 Dynamics and Design	2		2			E, I系に開講	
	材料科学 Materials Science	2			2		M, I系に開講	
	実用情報処理 Advanced Computer Literacy	2	2				E, M系に開講	
	設備設計 Design of Air-Conditioning	2			2			
	環境調整学 Environment Control Engineering	2			2			
	環境工学概論 Introduction to Environmental Engineering	2			2			
	小計 Subtotal	12	2	2	6	2		
	複合的・学際的資質育成 Interdisciplinary Subjects	機械システム要素 Mechanical Systems Elements	2	2				E, I系に開講
		メカトロニクス概論 Introduction to Mechatronics	2		2			E, I系に開講
		熱力学概論 Introduction to Thermo Dynamics	2			2		I系に開講
電気機器概論 Introduction to Electric Machinery		2				2	M, I系に開講	
情報システム Information System		2	2				E, M系に開講	
情報ネットワーク概論 Introduction to Information Networks		2				2	E, M系に開講	
材料工学概論 Introduction to Materials Engineering		2				2		
分子生物学 Molecular Biology		2				2		
建築生産システム工学 Building Materials and Production Management Systems Engineering		2				2		
ユニバーサルデザイン Universal Design		2				2		
選択科目 Elective Subjects	地域協働特論 Topics in Community Collaboration	1		1			この科目の単位数は、※の欄の学年別配当には含まれていない	
	地域協働演習Ⅰ Exercise in Community Collaboration I	1		1				
	地域協働演習Ⅱ Exercise in Community Collaboration II	1		1				
	特別実習Ⅱ Advanced Extramural Practice II	1~6		1~6				
	小計 Subtotal	24~29	4	2	4	10	※	
	深い専門性 Discipline Specific Subjects	エネルギー変換工学概論 Introduction to Energy Conversion Engineering	2		2			
		応用流体力学 Applied Fluid Engineering	2		2			
		精密加工学 Engineering of Precision Manufacturing	2	2				
		塑性加工学 Theory of Plastic Working	2			2		
		自動生産システム Automatic Production Systems	2				2	
機械システム制御 Mechanical System Control		2	2					
デジタル制御 Digital Control		2				2		
パルスパワー工学 Pulsed Power Engineering		2				2		
機能デバイス工学 Functional Devices		2				2		
画像処理工学 Image Processing		2				2		
パワーエレクトロニクス特論 Advanced Power Electronics		2	2					
応用電子回路工学 Applied Electronic Circuits		2				2		
電子物性工学 Material Science for Electronics		2	2					
システム情報モデル Modeling for Information Processes		2		2				
デジタル回路設計 Digital Systems Design		2				2		
アルゴリズム論 Advanced Course of Algorithms		2	2					
ソフトウェア開発管理論 Advanced Software Engineering		2				2		
応用情報工学 Applied Information Engineering		2				2		
サーキットデザイン Circuit Design	2		2					
情報通信工学 Information Network Engineering	2				2			
小計 Subtotal	40	10	8	14	8			
選択科目開設単位数計 Total of Credits on Elective Subjects	76~81	16	12	24	20	※		
専門科目開設単位数計 Total of Credits Offered on Technical Subjects	100~105	23	21	29	23	※		
一般科目及び専門基礎科目開設単位数計 Total of Credits Offered on General Subjects	16	6	10					
開設単位数総計 Total of Credits Offered	116~121	29	31	29	23	※		
修得単位数総計 Total of Credits Required	62以上							
他高専・他大学の開講科目 (専門科目) Subjects offered at other KOSEN and universities (Technical Subjects)			他高専・他大学で修得した科目の単位数		履修に関する事項は別に定める			

専門科目 (応用物質工学専攻) Advanced Chemical Science and Engineering Course

授業科目 Subjects		単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades				備考 Notes			
			1年 1st		2年 2nd					
			前期	後期	前期	後期				
専門科目 Technical Subjects	必修科目 Required Subjects	応用物質工学特別研究Ⅰ Thesis Research I	6	3	3					
		応用物質工学特別研究Ⅱ Thesis Research II	6			3	3			
		応用物質工学技術演習 Advanced Exercises for Engineers	2	1	1					
		合同特別実験 Advanced Experiments Combination	1	1						
		応用物質工学特別実験Ⅰ Advanced Exercises I	1	1						
		応用物質工学特別実験Ⅱ Advanced Exercises II	1			1				
		創造設計合同演習 Practice of Creative Design in Interdisciplinary Teams	2		2					
		応用物質工学特別演習 Advanced Exercise for Creative Designing	2	1	1					
		特別実習Ⅰ Advanced Extramural Practice I	2		2					
		必修科目修得単位数計 Total of Credits on Required Subjects	23	7	9	4	3	この科目の単位数は後期に含まれる		
専門科目 Technical Subjects	基礎科目 Basic Subjects	工業基礎力学 Dynamics and Design	2		2					
		材料科学 Materials Science	2			2				
		実用情報処理 Advanced Computer Literacy	2	2						
		設備設計 Design of Air-Conditioning	2			2				
		環境調整学 Environment Control Engineering	2			2				
		環境工学概論 Introduction to Environmental Engineering	2			2				
		小計 Subtotal	12	2	2	6	2			
		専門科目 Technical Subjects	複合的・学際的・実践的・資質育成 Interdisciplinary Subjects	機械システム要素 Mechanical Systems Elements	2	2				
				熱力学概論 Introduction to Thermo Dynamics	2			2		
				電気電子工学概論 Introduction to Electrical and Electronic Engineering	2		2			
情報システム Information System	2			2						
サーキットデザイン Circuit Design	2				2					
情報ネットワーク概論 Introduction to Information Networks	2						2			
分子生物学 Molecular Biology	2						2			
建築生産システム工学 Building Materials and Production Management Systems Engineering	2					2				
ユニバーサルデザイン Universal Design	2						2			
小計 Subtotal	22~27			4	4	4	6	※		
専門科目 Technical Subjects	深い専門性 Discipline Specific Subjects	応用物理化学 Applied Physical Chemistry	2	2						
		無機構造化学 Structures in Inorganic Chemistry	2			2				
		有機合成化学 Synthetic Organic Chemistry	2	2						
		応用分析化学 Applied Analytical Chemistry	2		2					
		無機材料化学 Inorganic Material Chemistry	2			2				
		応用化学工学 Applied Chemical Engineering	2			2				
		バイオテクノロジー Biotechnology	2				2			
		環境生物工学 Environmental Bioengineering	2				2			
		分子構造解析学 Molecular Structure Analysis	2		2					
		小計 Subtotal	18	4	4	4	4			
選択科目開設単位数計 Total of Credits on Elective Subjects	52~57	10	10	16	12	※				
専門科目開設単位数計 Total of Credits Offered on Technical Subjects	75~80	17	19	20	15	※				
一般科目及び専門基礎科目開設単位数計 Total of Credits Offered on General Subjects	16	6	10							
開設単位数総計 Total of Credits Offered	91~96	23	29	20	15	※				
修得単位数総計 Total of Credits Required	62以上									
他高専・他大学の開講科目 (専門科目) Subjects offered at other KOSEN and universities (Technical Subjects)	他高専・他大学で修得した科目の単位数				履修に関する事項は別に定める					

専門科目 (建築学専攻) Advanced Architecture Course

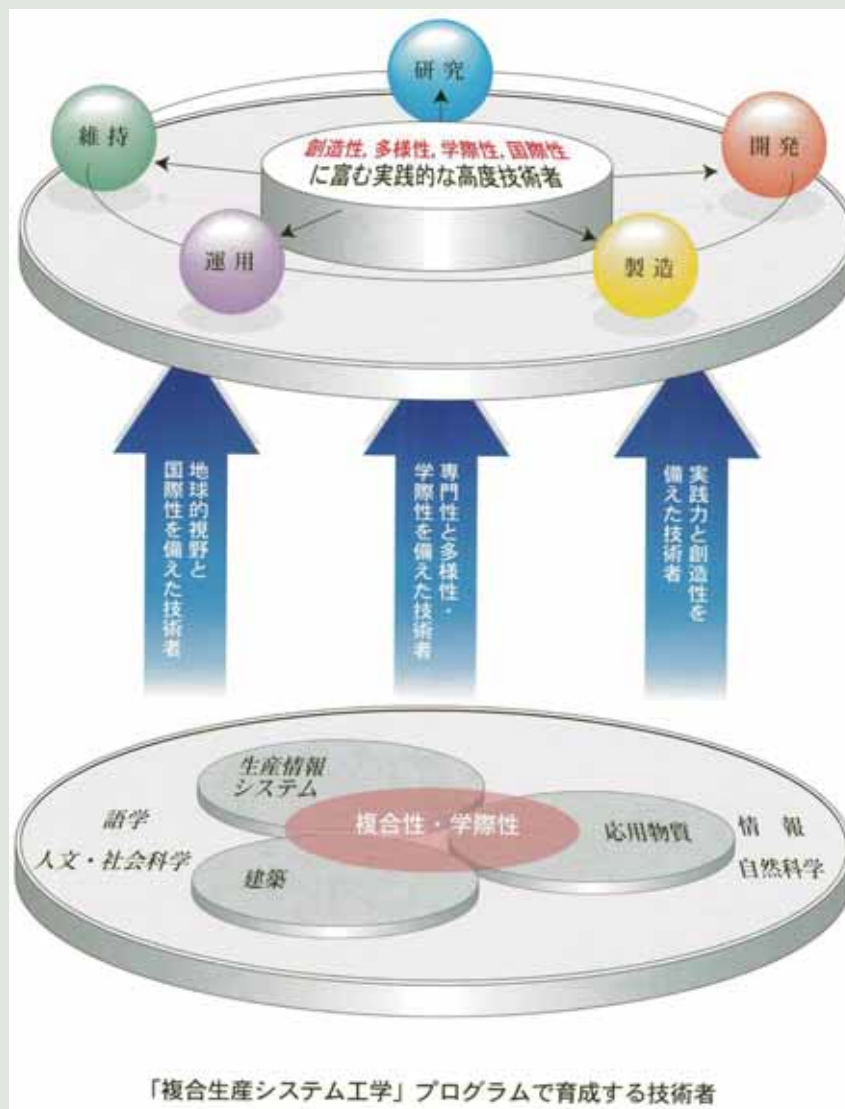
授業科目 Subjects		単位数 Number of Credits	学年別配当 Number of Credits by Grades				備考 Notes			
			1年 1st		2年 2nd					
			前期	後期	前期	後期				
専門科目 Technical Subjects	必修科目 Required Subjects	建築学特別研究Ⅰ Thesis Research I	6	3	3					
		建築学特別研究Ⅱ Thesis Research II	6			3	3			
		建築学技術英語 Advanced English for Engineers	2	2						
		合同特別実験 Advanced Experiments Combination	1	1						
		建築設計特別演習Ⅰ Advanced Architectural Design and Drawing I	2	2						
		建築設計特別演習Ⅱ Advanced Architectural Design and Drawing II	2			2				
		創造設計合同演習 Practice of Creative Design in Interdisciplinary Teams	2		2					
		特別実習Ⅰ Advanced Extramural Practice I	2		2					
		必修科目修得単位数計 Total of Credits on Required Subjects	23	8	7	5	3	この科目の単位数は後期に含まれる		
		専門科目 Technical Subjects	基礎工学 Basic Subjects	材料科学 Materials Science	2			2		
実用情報処理 Advanced Computer Literacy	2			2						
環境調整学 Environment Control Engineering	2					2				
環境工学概論 Introduction to Environmental Engineering	2					2				
小計 Subtotal	8			2	4	2				
専門科目 Technical Subjects	複合的・学際的・実践的・資質育成 Interdisciplinary Subjects			機械システム要素 Mechanical Systems Elements	2	2				
				熱力学概論 Introduction to Thermo Dynamics	2			2		
				電気電子工学概論 Introduction to Electrical and Electronic Engineering	2		2			
				情報システム Information System	2	2				
				サーキットデザイン Circuit Design	2		2			
		情報ネットワーク概論 Introduction to Information Networks	2				2			
		材料工学概論 Introduction to Materials Engineering	2				2			
		分子生物学 Molecular Biology	2				2			
		建築生産システム工学 Building Materials and Production Management Systems Engineering	2			2				
		小計 Subtotal	22~27	4	4	4	6	※		
専門科目 Technical Subjects	深い専門性 Discipline Specific Subjects	建築防災システム工学 Disaster Prevention Systems Engineering	2		2					
		居住地計画論 Planning of Community Housing	2	2						
		都市・空間デザイン論 Urban and Space Design	2		2					
		都市環境マネジメント論 Urban Environment Management	2			2				
		近代化建築史論 History of Japanese Modernization Period Monuments	2			2				
		建築保存再生論 Preservation and Reproduction Historic Buildings	2			2				
		構造解析特論 Advanced Structural Analysis	2	2						
		鉄筋コンクリート構造特論 Advanced Reinforced Concrete Structures	2		2					
		鋼構造特論 Advanced Steel Structures	2			2				
		建築構造設計論 Structural Article for Architecture	2			2				
小計 Subtotal	20	4	6	6	4					
選択科目開設単位数計 Total of Credits on Elective Subjects	50~55	10	10	14	12	※				
専門科目開設単位数計 Total of Credits Offered on Technical Subjects	73~78	18	17	19	15	※				
一般科目及び専門基礎科目開設単位数計 Total of Credits Offered on General Subjects	16	6	10							
開設単位数総計 Total of Credits Offered	89~94	24	27	19	15	※				
修得単位数総計 Total of Credits Required	62以上									
他高専・他大学の開講科目 (専門科目) Subjects offered at other KOSEN and universities (Technical Subjects)	他高専・他大学で修得した科目の単位数				履修に関する事項は別に定める					

本校では平成13年度に専攻科が設置されたことに伴い、「幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に、創造性、多様性、学際性、国際性に富む実践的な高度技術者の育成をめざす」という教育理念を踏まえ、本科4年次から専攻科2年次までの4年間の学習・教育に対して、技術者教育プログラムとして「複合生産システム工学」プログラムを設け、社会のさまざまな要請にこたえられる技術者教育を行っています。

本プログラムで育成する技術者像

本プログラムでは、工業生産活動（機械、電気、電子・情報、物質、建築）における諸課題を自ら発掘し、多角的な視点から解決するため、ものづくりに重点をおき、工学の専門知識と学際的知識を総合した判断力と問題解決能力を備えた技術者の育成を目指しています。さらにはこれらの教育を通じて、人々に優しく、自然と共存できる技術の開発に携わり、環境問題・食糧問題・エネルギー問題など今日的な諸課題について柔軟に対応できる技術者を育成することを目的としています。

専攻科修了をもって、本プログラムを修了したものとみなします。



総合情報センター

総合情報センターは、情報化推進室、サイバーセキュリティ室、情報基盤室の3室で構成された本校のICTを担う中核組織です。校内LANシステムや教育用コンピュータ等の基盤整備からリテラシー教育までを統合的に支援し、本校の教育研究と運営の高度化を支えます。

情報化推進室（DX室）

情報化推進室の主な業務は、円滑な情報化支援、教育データの蓄積・分析、そしてICT活用教育の推進の3点です。デジタル技術を軸に、教育環境の整備からデータ活用までをトータルで支え、学びの質を向上させます。

サイバーセキュリティ室（CS室）

サイバーセキュリティ室は、情報セキュリティ対策、システムの安全な管理・運用、そして学生・教職員へのセキュリティ教育の3つを主業務としています。技術と運用の両面から情報を保護し、組織の安全を守る役割を担います。

情報基盤室（SA室）

情報基盤室は、校内LANシステムの構築、安定したインターネット接続の確保、そして教育用計算機システムの運用・管理を担います。教育活動の土台となる通信インフラを整備し、円滑なICT環境を支える部署です。

校内LAN機器		教育用コンピュータ機器		
装置名	型名	装置名	型名	台数
センタースイッチ	Extreme 5520-X24	クライアントPC	Dell OptiPlex	約270台
フロントスイッチ	Extreme X440G2-48t	レーザープリンタ	OKI COREFIDO	5台
エッジスイッチ	Extreme X440G2-24t/12p			
サーバ類	DELL PowerEdge, HPE ProLiant 他			

地域共同テクノセンター

地域共同テクノセンターは、研究・産学連携推進室、地域教育支援室、起業家工房推進室の3室で構成される地域活性化の拠点です。共同研究や技術相談、次世代の科学教育、起業家育成を柱に、産学官民が連携する環境を創造します。

研究・産学連携推進室

研究・産学連携推進室は、外部資金獲得や共同研究の支援、技術相談の受付等を通じて産学官連携を推進する組織です。研修会や広報、設備共用、地域団体との連携も担い、研究活性化と技術発展の両面から地域に貢献します。

地域教育支援室

地域教育支援室は、出前授業や公開講座、高専ハカセ塾等の企画運営を通じ、小中学生の科学技術教育を支援します。また、教員研修や理系進路支援、実験器具の貸出等、民学官や教育委員会と連携して地域の教育力向上に貢献します。

起業家工房推進室

起業家工房推進室は、アントレプレナーシップ教育や起業家工房の運営を通じ、スタートアップを目指す学生を支援する組織です。地域企業等と連携した学生支援も行い、次世代を担う挑戦的な人材の育成に注力しています。

サーキットデザイン教育センター

本校がこれまで培ってきた半導体・集積回路設計教育の知見と実績を基盤として、令和7年4月にサーキットデザイン教育センター（CDEC）を設置しました。CDECは、全国の国立高専と連携し、日本の半導体産業の復権を牽引する優秀な人材を全国の高専から継続的に育成・輩出するという強い想いを持っています。そのために、起業家精神を涵養するサーキットデザイン教育を実施し、産学連携マッチングラボをベースとする企業の支援も得ながら社会実装教育を全国に展開するためのプログラム、教材、コンテンツ等を開発します。さらに、東京大学大学院工学系研究科附属システムデザイン研究センター（Systems Design Lab, d.lab）との連携を通じて、高等専門学校での教育研究活動を強化し、卒業生がトップ人材へと成長できるよう支援します。

グローバル・エデュケーション・センター

グローバル・エデュケーション・センター（GEC）は、本校におけるグローバル教育の推進と学内の国際化を担う組織として、令和6（2024）年4月に設置されました。

本センターでは、海外への学生派遣、海外からの学生の受入、英語教育の充実を柱として、学生の国際的な視野と実践力の育成に取り組んでいます。海外インターンシップや2年生全員を対象とした海外研修等の実施により、国際的な学修機会を提供するとともに、語学力の向上と異文化理解の促進を図っています。

GECは、国際交流室等を再編して設置されたものであり、その実績を基盤にグローバル教育の一層の充実に取り組み、これらの活動を通じて、多様な価値観を理解し、国際社会において主体的に行動できる技術者の育成を目指しています。

学生派遣

年度	区分	学生交流	トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム		インターンシップ	学会発表	海外研修	合 計
			高校生コース	大学生コース				
令和3（2021）年度		0	3（延期）	0	0	4*	0	4
令和4（2022）年度		14	2	0	0	12*	0	28
令和5（2023）年度		25	2	0	1	3	414	445
令和6（2024）年度		28	0	0	3	15	197	243
令和7（2025）年度		15	2	1	3	18	201	240
合 計		82	6	1	7	52	812	960

※学会発表はリモートでの参加

学生サポートセンター

学生サポートセンターは、学生に対する総合的な支援を行うことを目的に、平成30年度に設置されました。「学生相談室」、「キャリア支援室」及び「ピアサポート推進室」の3つの室から成り立ち、お互いに情報を共有して学生を効果的に支援できる体制となっています。

常勤教員

職名	氏名	専門分野
准教授	香川 純子 カガワ ジュンコ	公認心理師・臨床心理士

学生相談室

平成11年4月にスタートした学生相談室は、修己館に、愛称『七福神の部屋』として開室し、教員3名、カウンセラー1名、スクールソーシャルワーカー1名、看護師2名の7名のスタッフで対応しています。

『いきいきと豊かな学生生活を送るために』をキャッチフレーズに、悩みや心配事などの相談に応じながら、自己の確立、社会性の育成を目標とし多彩な催しを織り込んだ活動を行っています。

キャリア支援室

キャリア支援室は、室長・副室長・コース長・学年主任・学生課長・学生支援係によって構成され、各種進路セミナーや進路適性テストなどの全学生を対象にした進路支援活動を企画し実施します。このような活動を通して、低学年のうちから職業観の高揚を図り、学生のキャリア育成を支援していくことを目的としています。

1年生の後半に実施するキャリアコンサルタントによる最初のセミナーを皮切りに、年を追うごとに、それぞれの年次に見合った進路セミナーや各種啓発活動を実施していきます。

ピアサポート推進室

令和5年にスタートしたピアサポート推進室は、室長および室員（教務主事、学生主事、寮務主事、学生相談室長、学生課長）によって構成されています。学生同士のピアサポートをもっと充実してもらえるように、まずはピアサポートに関する各種講習会やアンケート調査、ピアサポーター登録など、学内でのピアサポートの推進につながる活動を企画し、実施します。

リスク管理室

リスク管理室は、本校の危機管理体制を推進する司令塔として、学生や教職員の安全を確保するための総合的かつ計画的な企画立案を行います。平時は情報収集や分析、マニュアル整備、教育訓練の実施を通じて備えを徹底し、緊急時には対策本部の運営を主導、迅速な情報伝達や調整、社会への情報公開、事後検証まで一貫して担います。

企画・広報室

企画・広報室は、本校の発展に向けた将来構想の企画・立案と、学校の魅力を広く社会へ伝える広報活動を担っています。未来を見据えた学校運営の推進と、積極的な情報発信を通じて、本校と社会をつなぐ役割を果たします。

教学IR室

教学IR室は、校長の諮問に基づき各種データを分析し、その結果をもとにカリキュラム改善やエンロールメント・マネジメント等への活用方法を検討しています。本校の教育・学修に関する目標の達成に向けて、客観的根拠の提供を行っています。

入試広報室

入試広報室は、学校説明会やオープンキャンパス等の各種イベント開催、中学校訪問などの活動を通じて、主に小・中・高校生を対象に本校の魅力を広く伝えています。また、学校案内などの各種広報物の制作・発信を通じて、受験生や保護者の皆様へ入試に関する情報をお届けしています。

図書館運営室

図書館運営室は、図書の選定や施設管理など図書館の運営全般を担っています。また、図書館だよりや学校の年次報告書の編集・発行業務に加え、美術ギャラリーの管理運営も行い、学習・研究と文化活動の拠点作りを推進しています。

ハラスメント相談室

ハラスメント相談室は、ハラスメントに関する苦情や相談を受け付ける窓口です。相談対応に加え、ハラスメント防止に向けた研修や啓発活動を企画・実施することで、学生及び教職員が安心して学習・教育・研究に取り組める環境づくりに努めています。

男女共同参画推進室

男女共同参画推進室は、高専機構DE&I行動計画に基づき、男女共同参画を推進しています。関連施策の立案・実施や啓発活動、情報発信を通じて、性別にかかわらず誰もが個性と能力を十分に発揮し、活躍できる環境づくりに努めています。

有友情報室

有友情報室は、従来の同窓会組織とは別に、学校と卒業生とが相互に情報交換を図る目的から開設されました。有友情報室の具体的な活動としては、例えば、卒業生のUターン情報などを含む転職・求人情報提供などを行います。逆に、卒業生からは、学校教育への有用な情報提供・人的支援などを頂くものです。キャリア支援室とも連携しながら、学生のためのキャリア教育を含む進路支援への有効な情報提供も図っていきます。

図書館



▲有明高専美術ギャラリー



▲図書館

図書館には、現在（令和8年3月末）93,100冊の図書が収蔵されています。閲覧室は、学習閲覧室と研究閲覧室に分けられ、それぞれ様々な分野の学習や調査・研究に必要な図書や専門雑誌、その他の資料を配置しています。図書や専門雑誌の他に、利用者は一般雑誌や新聞、DVD、その他の授業に関連した資料を利用できます。

図書館は、夜間（夜8時まで）および土曜日（午前10時から午後4時まで）も開館し、学生や教職員の学習や調査・研究を支援しています。また、一般市民にも開放され、資料の閲覧だけでなく、貸出も行っています。

図書館には、視聴覚室やセミナー室、ラーニング・commons（知の集い処（どころ））が備えられているほか、1階ロビーには美術ギャラリーが開設され、地元画家の絵画など約50点を展示しています。

蔵書構成

分類	000	100	200	300	400	500	600	700	800	900	その他			合計	
	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	専門図書	多読図書	新書・文庫		
冊数	洋書	222	166	240	183	1,040	654	15	81	670	2,560	612	2,964	523	9,930
	和書	4,712	1,958	4,946	4,937	9,932	9,531	492	2,097	2,166	11,525	18,350	758	11,766	83,170
	計	4,934	2,124	5,186	5,120	10,972	10,185	507	2,178	2,836	14,085	18,962	3,722	12,289	93,100

総合研究棟

総合研究棟は、専攻科の拠点となる建物であるとともに、地域連携のための共用実験室等からなる研究・教育のための施設で、平成15年3月に竣工しました。1階に展示場にも使えるロビー、起業家工房及び起業家工房推進室、2階に専攻科講義室及び総合研究室2、3階・4階に専攻科各分野の実験研究室、専攻科生の学習室、及び電子情報工学科棟との連結部にリフレッシュコーナーがあります。

リフレッシュコーナーは共用施設でミニキッチン等も備え、学生が勉強の間にくつろぐ空間として利用されます。建物の構造は、地震に対してより強くするため、低降伏点鋼ダンパーを架構に装着し、3階・4階は吊り構造にするなどの工夫をしています。また、地中の冷熱利用と太陽光発電装置を備え、室内空調の動力の一部を補っています。



起業家工房



起業家工房は、すべてのコースの学生が対応できるさまざまな設備を導入し、学生がものづくりの一連の行程を実体験できる場所として、令和6年1月に開所しました。

プリント基板加工機や3Dプリンターなど、多数の設備を設置しています。

開発研究棟・共同研究棟



▲共同研究棟



▲開発研究棟

開発研究棟および共同研究棟は、特定の学科や専攻科に属さない全学共用の教育研究スペースとして設けられた施設です。本校の教職員や学生による研究プロジェクトを推進するための環境が整備されています。また、これらの施設は、共同研究・教育の場として、地域社会との連携や産学連携を深める重要な拠点となっています。

修己館



▲売店



▲食堂・イノベーションcommons

昭和57年度に学生のための福利施設が建設され、昭和58年4月から使用しています。この福利施設は、延面積888㎡の一部2階建鉄筋コンクリート造で「修己館」と称しています。修己館には、1階に食堂・イノベーションcommons、売店(コンビニエンスストア)、保健室、カウンセリング室、学生相談室、2階に音楽鑑賞室、学生サポートルーム、学生会室などを設けています。

学生寮(岱明寮)

緑深い台地の校舎地区から坂を下り、6世紀の装飾古墳の一つである国指定文化財「萩ノ尾古墳」から県境を隔てた関川のほとりに「岱明寮」があります。

“若者”の健全な成長を象徴して「若葉」「紅葉」「銀杏」「桜」と名付けられた4つの寮舎に、近県から集まったおよそ300名の学生が起居をともにし、教員指導のもとに規律正しい集団生活の中でマナーと連帯感を身につけながら、豊かな人間性を養う教育の場として、寮生活を送っています。

また、規則正しい日々の生活の中におけるおいと変化のある多彩な年中行事を織り込み、信頼と協調の精神を学びとっています。

岱明寮入寮人員・現員

棟名	区分	入寮学生	室数	收容人員		現員
				一室当り	合計	
銀杏棟		1～5学年、留学生	71	1	71	69
紅葉棟		1～5学年	100	1	100	100
若葉棟		建設中				
桜棟(女子)		1～5学年、留学生	84	1	84	84
4棟合計					255	253

※令和8年5月1日現在



▲桜棟（女子寮）



▲岱明寮



▲紅葉棟（男子寮）



▲あらたば（食堂棟）

ネーミングライツ（命名権）

ネーミングライツパートナー及び広告パートナー制度は、人材育成や教育研究環境の向上を目的に導入されています。ネーミングライツパートナーは、希望する施設等に愛称を付与し、サイン及び広告を設置することができます。また、広告パートナーは、希望する指定場所に広告を設置できます。

ネーミングライツパートナー 一覧

パートナー	対象施設	愛称	契約期間
青木あすなろ建設株式会社	合同講義室	青木あすなろ建設合同講義室	令和6年4月1日 - 令和9年3月31日
東亜建設工業株式会社	イノベーション・commons	東亜建設工業Innovation Café	令和6年6月1日 - 令和9年5月31日
株式会社シティアスコム	起業家工房	シティアスコム起業家工房	令和6年6月1日 - 令和9年5月31日
株式会社エルテックス・ヨシダ	実習工場	エルテックスファクトリー	令和7年3月1日 - 令和10年2月29日
三建設備工業株式会社	製図室・CAD室	SANKEN製図室・CAD室	令和7年4月1日 - 令和10年3月31日
株式会社三井三池製作所	第一体育館	さんさくアリーナ	令和7年3月1日 - 令和10年2月29日
	視聴覚室	さんさくMMルーム	令和7年3月1日 - 令和10年2月29日
室町ケミカル株式会社	物理実験室	室町ケミカル物理実験室	令和7年4月1日 - 令和10年3月31日

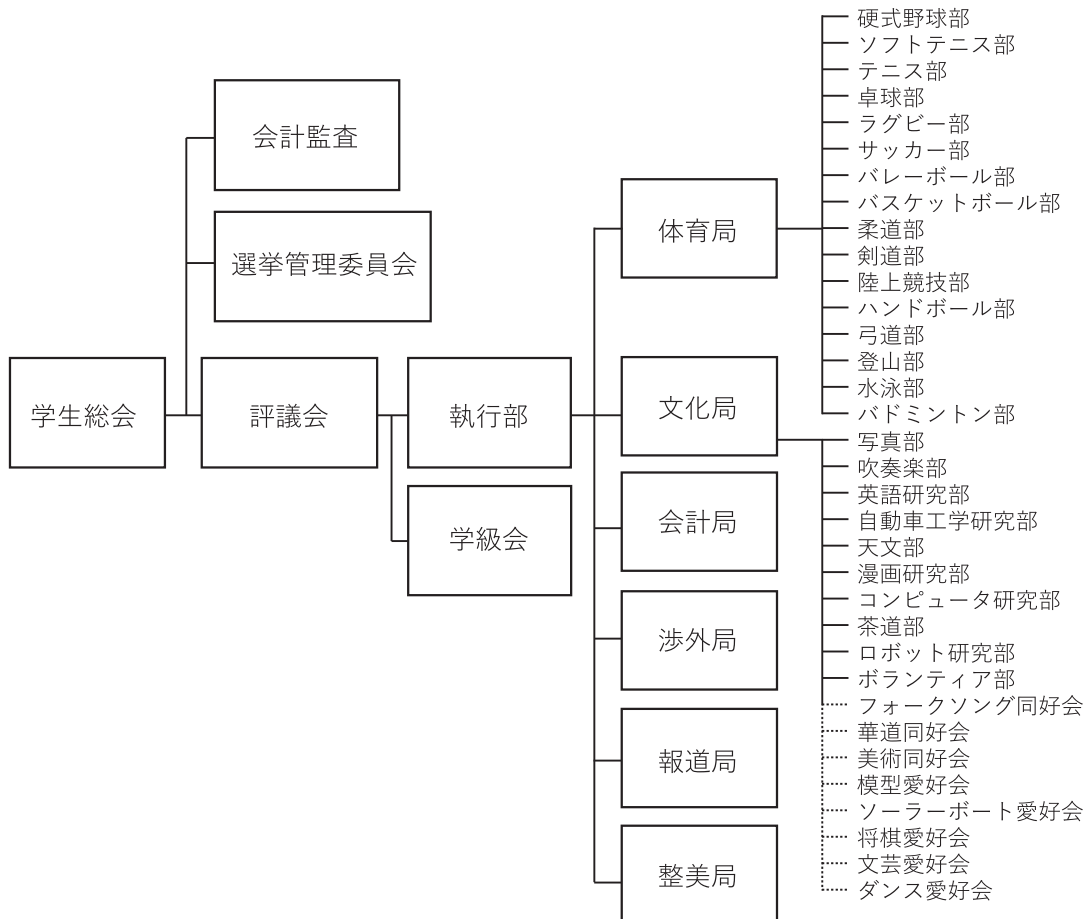
令和8（2026）年度

4月	入学式 始業式 定期健康診断 開校記念日（20日）
5月	授業参観 クラスマッチ 専攻科入学試験（推薦）
6月	前期中間試験 オープンキャンパス 専攻科入学試験（学力前期）
7月	九州沖縄地区高専体育大会 前期末試験
8月	夏季休業（8/11～9/30） オープンキャンパス 編入学試験 全国高専体育大会 ものづくり体験教室

9月	保護者懇談会 研修旅行（4年生） 2年生海外研修
10月	入試説明会 ロボットコンテスト九州沖縄地区大会
11月	九州沖縄地区高専大会サッカー競技 九州沖縄地区高専大会ラグビー競技 後期中間試験 学生会行事 ロボットコンテスト全国大会
12月	クラスマッチ 冬季休業（12/29～1/3）
1月	吹奏楽部定期演奏会 入学者選抜試験（推薦）
2月	学年末試験 終業式 入学者選抜試験（学力）
3月	卒業式・修了式 学年末休業（3/20～3/31）

 学生会

学生会組織



高専体育大会成績（主なもの）

地区大会（団体の部）			
大会名	開催年	種目	成績
第54回九州沖縄地区高専体育大会	平成29年	卓球(男子)・柔道	優勝
第55回九州沖縄地区高専体育大会	平成30年	卓球(男子)	優勝
第56回九州沖縄地区高専体育大会	令和元年	陸上(女子)・バレーボール(男子)・テニス(女子)	優勝
第59回九州沖縄地区高専体育大会	令和4年	陸上(女子)・バスケットボール(男子・女子)・バドミントン(女子)	優勝
第60回九州沖縄地区高専体育大会	令和5年	陸上(男子)・バスケットボール(女子)・バドミントン(女子)・テニス	優勝
第61回九州沖縄地区高専体育大会	令和6年	バスケットボール(女子)・バドミントン(女子)・卓球・剣道(女子)	優勝
第62回九州沖縄地区高専体育大会	令和7年	バドミントン(女子)、卓球(男子)、剣道(男子)、剣道(女子)、バレーボール(男子)	優勝

全国大会（団体の部）				
大会名	開催年	開催地	種目	成績
第57回全国高専体育大会	令和4年	四国	バドミントン(女子), バスケットボール(男子)	準優勝・3位
第58回全国高専体育大会	令和5年	関東・信越	陸上(男子3000m SC)	優勝
第59回全国高専体育大会	令和6年	北海道	陸上(男子3000m SC)	優勝・準優勝
第60回全国高専体育大会	令和7年	九州	剣道(男子)、バレーボール(男子)	優勝・3位

大会名	開催年	開催地	種目	成績
第3回全国高専弓道大会	平成28年	山口	女子団体の部	優勝

コンテスト等成績（主なもの）

ロボットコンテスト全国大会		
(開催年) 大会名	ロボット名	成績
第25回大会(2012)・「ベスト・ペット」	キャロツ兎	安川電機賞
第35回大会(2022)「ミラクル☆フライ ～空に舞い上がれ!～」	AppRoachIng	デザイン賞

プログラミングコンテスト		
開催年場所	部門	成績
第27回大会(2016) 鳥羽商船	自由	敢闘賞
第29回大会(2018) 阿南	自由	敢闘賞
第30回大会(2019) 都城	自由	敢闘賞
第34回大会(2023) 福井	課題	NIST賞・jig.jp賞

デザインコンペティション		
開催年場所	参加部門	成績
平成28年度(2016) 高知	空間デザイン	最優秀賞
平成29年度(2017) 岐阜	空間デザイン	審査員特別賞
令和4年度(2022) 有明	空間デザイン 創造デザイン	日建学院賞 優秀賞・クボタ賞
令和5年度(2023) 舞鶴	構造デザイン 創造デザイン	審査員特別賞 審査員特別賞
令和7年度(2025) 福井	構造デザイン 空間デザイン	審査員特別賞 審査員特別賞

コンテスト等成績（主なもの）

英語プレゼンテーションコンテスト		
開催（年度）	部門	成績
第11回大会（2017）	シングル部門	全国3位
第12回大会（2018）	プレゼンテーション部門	九州1位、2位
第13回大会（2019）	プレゼンテーション部門	九州2位
第16回大会（2022）	プレゼンテーション部門	九州1位

高専GCON		
開催（年度）	チーム名	成績
第1回大会（2022）	サーキットデザインGirls	高専60周年記念賞
第2回大会（2023）	サーキットデザインGirls	ファイナリスト賞

高専起業家サミット		
開催（年度）	チーム名	成績
第1回大会（2023）	サーキットデザインBoys	優秀賞

演算増幅器設計コンテスト		
開催年度	部門	成績
2021	試作の部	7位
2022	シミュレーションの部 部門1	2位
2023	試作の部 シミュレーションの部 部門1 シミュレーションの部 部門3	2位、5位、7位 3位 6位、7位
2024	シミュレーションの部 部門4	3位、4位

Hondaエコマイレッジチャレンジ		
開催（年度）	成績	
九州大会（2018）	グループIII大学・高専・専門学校部門	1位
	二輪車クラス	2位
全国大会（2018）	二輪車クラス	1位
	グループIII大学・高専・専門学校部門	3位
九州大会（2019）	グループIII大学・高専・専門学校部門	1位
	二輪車クラス	1位
九州大会（2021）	グループIII大学・高専・専門学校部門	1位
	二輪車クラス	1位
九州大会（2025）	グループIII大学・高専・専門学校部門	1位
	CN-二輪車クラス	1位

教員の研究活動

研究活動の目的

- 1) 高度な実践的技術者を育成するための教育活動に必要な教育水準の維持向上を図ること
- 2) 地域企業との共同研究を通して、地域の活性化に貢献すること
- 3) それぞれの専門分野へ学術的な貢献をすること

科学研究費助成事業

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額
基盤研究(B)	0	0	0	0	1	4,940	2	13,390	2	10,530
基盤研究(C)	13	13,390	17	18,850	14	12,480	15	13,650	15	13,780
若手研究	3	4,160	4	4,160	4	8,190	4	2,860	1	650
研究活動スタート支援	1	1,560	1	1,560	1	780	1	0 (延長のため)	1	910
奨励研究	3	1,090	1	130	0	0	0	0	1	390
研究成果公開発表 ひらめき☆とさめきサイエンス	1	360	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(単位:千円)	21	20,560	23	24,700	20	26,390	22	29,900	20	26,260

※金額は、各年度の3月31日時点の値です。

令和7年度実施課題一覧

(金額: 令和7年度受入額(直接経費+間接経費))

基盤研究(B)		
小型魚類胚動物代替生体毒性評価法によるAOPの構築と活用	富永 伸明	4,550千円
海産甲殻類に対する浸透移行性殺虫剤の汚染実態解明と環境リスク評価	内田 雅也	5,980千円
基盤研究(C)		
離島の社会資本整備に伴う漁業集落の空間構成の変容に関する研究	森田健太郎	0千円(延長)
黎明期のイギリス小説における句動詞の役割	村田 和穂	0千円(延長)
対称群周辺とスピン表現にまつわる代数的組合せ論	青影 一哉	0千円(延長)
プログラミングと技術の歴史をつなぐ超集積化トランジスタものづくり教育工学と評価	石川 洋平	780千円
A HW-SW design and execution platform for sustainable edge-computing devices based on HDLRuby	ゴーチェ・ロヴィック	910千円
マルチパルス電極による魚類受精卵への物質導入	河野 晋	1,170千円
人口減少期における民生委員と連携した住環境マネジメントモデルの構築	佐土原洋平	260千円
高校情報科教員の持続的な実践的授業力向上を目指したコミュニティ環境の構築と検証	尋木 信一	1,170千円
介護負担軽減のためのバイオインピーダンス法を用いた尿量計測システムの開発	清水 暁生	1,040千円
高性能ナノ結晶ダイヤモンド電極の金属基板上ダイレクト形成	原 武嗣	1,950千円
制御可能な3次元超伝導コースターの製作 ~電磁気分野の包括的な教育教材開発~	竹内 伯夫	520千円
対話的な学びを実現する記述型教材とICTを活用した数学教育の実践的研究	田端 亮	520千円
変動する音環境での雑音除去と目的音を追従する即時稼働可能な音声収録システムの開発	石橋 孝昭	1,690千円

シャルピー値による繰返し载荷を受ける欠陥を有する 溶接接合部の累積塑性変形能力推定	岩下 勉	2,470千円
対称群のスピンの表現とその周辺の表現論	青影 一哉	1,300千円

若手研究

AIと多点型膀胱内尿量計測回路を組み合わせた尿失禁予防システムの開発と評価	野口 卓朗	650千円
---------------------------------------	-------	-------

奨励研究

ヤスリ作業姿勢の自己調整学習のためのリアルタイムモニタリングシステムの開発	石橋 大作	390千円
---------------------------------------	-------	-------

研究活動スタート支援

19世紀南部ヴェトナム・カトリック教会堂におけるヴェランダ導入の解明	高木繭絹子	910千円
------------------------------------	-------	-------

その他競争的研究費

NEDO

電力用高周波磁気デバイスの低損失・高集積化を実現する低背型磁気構造の開発	白川 知秀	700千円
下水疫学調査サービス事業に最適なポリマーブラシ型超効率ウイルスの濃縮技術の確立	大河平紀司	7,660千円

地域との交流（令和7年度）



▲液体窒素で遊んでみよう



▲甘さのひみつ



▲高専ロボット体験

小・中学生対象講座

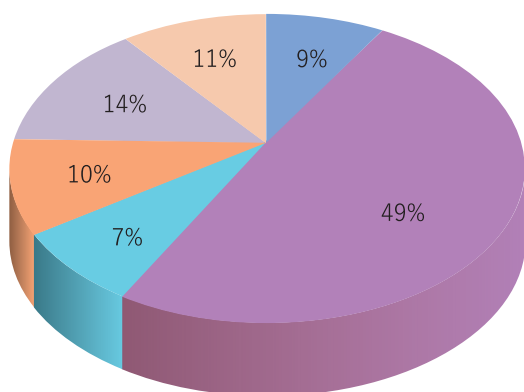
	実施日	場所／主催	参加者数
連携協力推進会議事業（大牟田市教育委員会）			
カラフルな人工イクラをつくってみよう	9/19	白光中学校	81名
巨大空気砲を作ろう！	10/31	大牟田中央小学校	114名
液体窒素で遊んでみよう！	11/4	倉永小学校	60名
巨大空気砲を作ろう！	12/15	高取小学校	36名
巨大空気砲を作ろう！	1/20	羽山台小学校	108名

	実施日	場所／主催	参加者数
連携協力推進会議事業（荒尾市教育委員会）			
犯人を捜せ！～化学分析を体験しよう！～	4/20	荒尾総合文化センター	40名
カラフルな人工イクラをつくってみよう	9/9	荒尾第一小学校	32名
水の科学 女子力UP！！科学実験 (UVレジンを使ったオリジナルアクセサリー作り)	10/5	緑ヶ丘小学校	32名
木のボックスづくり ファミリーワークショップ	10/19	有明高専 青木あすなろ建設合同講義室	25名
橋を作ろう！橋を渡ろう！	11/21	府本小学校	20名
ものづくり講座			
ものづくり体験教室	8/21	有明高専	約1,000名
きのくにロボットフェスティバル2025 全日本 小中学生ロボット選手権 九州北部地区予選会	9/20 (組立・改造講習会) 10/25 (予選会)	有明高専	約17名
第20回エレクトロニクスものづくり体験教室	10/25	有明高専	34名
その他依頼事項			
(理科読) プログラミングとAI	11/9	大牟田市立図書館	40名
みんなでアラカルキッズ DAY - アートであそぼ！ あらおであそぼ！ -	1/12	荒尾総合文化センター	展示のみ
生涯学習ボランティア登録派遣事業 「まなばんかん」企業出前講座 「おおむた知恵袋」表彰式・発表会の 体験コーナーへの出展	2/23	おおむた生涯学習 まちづくり推進協議会 (大牟田市生涯学習課)	約100名
おおむた産業フェスタ	3/14	おおむた産業フェスタ 実行委員会 (大牟田市役所広報課)	-
一般市民対象講座			
花粉は語る～花粉で読み解く地球の歴史～	11/6	おおむた生涯学習まちづくり推進協議会	16名
いろいろな発酵食品について ～目に見えない微生物のちから～	11/20	おおむた生涯学習まちづくり推進協議会	27名
高専ハカセ塾			
有明高専ハカセ塾	8/23～ 12/20 (計5回実施)	小中学生 有明高専	21名

NIT 収入・支出決算額、外部資金

収入・支出決算額（令和6年度）

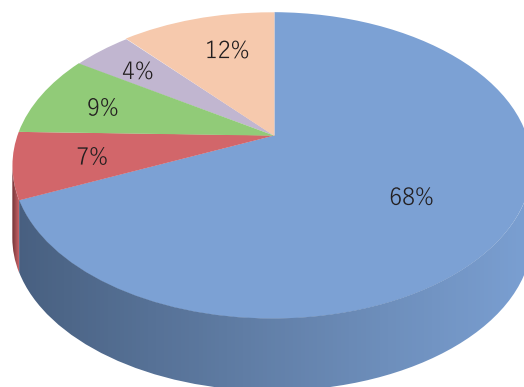
収入



収入	金額（単位：千円）
運営費交付金	36,726
授業料収入	206,583
入学科、検定料、雑収入	31,706
産学連携等研究収入	40,137
寄附金収入	57,569
その他補助金 (施設整備費補助金及び国立大学財務・経営センター施設費交付事業を含む。)	45,290
計	418,011

※人件費については(独)国立高等専門学校機構本部で計上しているため、運営費交付金には含まない

支出



支出	金額（単位：千円）
教育研究費 (教育研究支援経費を含む)	260,048
一般管理費	25,312
産学連携等研究経費	33,026
寄附金事業費	16,568
その他補助事業 (施設整備費補助金及び国立大学財務・経営センター施設費交付事業を含む。)	44,205
計	379,159

外部資金

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額
寄附金	11	12,013	16	19,373	9	9,931	13	55,829	20	10,960
共同研究	13	39,155	14	20,683	17	31,972	12	16,036	16	44,823
受託研究(受託事業含む)	5	7,255	4	5,217	0	0	1	1,673	1	1,729
受託試験	1	7,120	1	7,154	1	6,634	1	6,114	1	5,840
その他	9	7,325	11	14,182	8	10,507	10	20,000	13	79,724
合計	39	72,868	46	66,609	35	59,044	37	99,652	51	143,076

※交付金額単位：千円

グローバル教育関係獲得資金

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額
財団・その他	4	5,903	3	2,890	3	3,530	3	3,698	3	4,230
高専機構内競争的資金／配分額	1	10,472	1	10,375	2	11,345	2	12,085	2	12,928
合計	5	16,375	4	13,265	5	14,875	5	15,783	5	17,158

※交付金額単位：千円



▲留学生送別会



▲直流電動機の実験風景



▲女性技術者講演会・座談会

学科別学生定員・現員

学科・コース		区分	入学定員	収容定員	在学生数					
					1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	合計
創造工学科	エネルギーコース		200	1,000	206 (75)	207 (79)	44 (7)	44 (3)	38 (6) [1]	1,025 (341) [4]
	応用化学コース	18 (10)					11 (4)	9 (5)		
	環境生命コース	13 (6)					16 (12) [1]	9 (6)		
	メカニクスコース	47 (12) [1]					43 (6)	44 (13)		
	情報システムコース	48 (12)					44 (8)	45 (12) [1]		
	建築コース	53 (28)	40 (20)	46 (17)						
合計			200	1,000	206 (75)	207 (79)	223 (75) [1]	198 (53) [1]	191 (59) [2]	1,025 (341) [4]

※令和8年5月1日現在 ()内は女子で内数、[]内は留学生で内数

専攻科学生定員・現員

専攻名	区分	入学定員	収容定員	在学生数		
				1 学年	2 学年	合計
生産情報システム工学専攻		12	24	13(3)[2]	12(1)[2]	25(4)[4]
応用物質工学専攻		4	8	5(2)	5(1)[1]	10(3)[1]
建築学専攻		4	8	1(1)	6(1)	7(2)
合計		20	40	19(6)[2]	23(3)[3]	42(9)[5]

※令和8年5月1日現在 ()内は女子で内数
〔 〕内は九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムの学生で内数

入学志願者数・倍率

年度	創造工学科
令和8年	282 (1.4)
令和7年	302 (1.5)
令和6年	299 (1.5)
令和5年	286 (1.4)
令和4年	308 (1.5)

志願者数 (倍率)

令和8年度新入生の出身地

出身地	人数
福岡県	130
大牟田市	35
みやま市	5
うきは市	1
柳川市	8
大川市	1
筑後市	1
久留米市	15
八女市	4
朝倉市	2
福岡市	25
筑紫野市	3
春日市	7
那珂川市	1
福津市	1
中間市	1
糸島市	3
太宰府市	2
大野城市	3
嘉麻市	2
朝倉郡	1

出身地	人数
八女郡	1
三潁郡	4
糟屋郡	3
三井郡	1
熊本県	60
荒尾市	20
玉名市	18
熊本市	5
山鹿市	3
玉名郡	14
佐賀県	10
佐賀市	6
鳥栖市	1
唐津市	2
神埼郡	1
静岡県	1
磐田市	1
東京都	1
世田谷区	1
合計	202

徴収費用一覧

項目	金額	備考
入学料	84,600円	
授業料	半期分 117,300円	(年額234,600円)
教科書等購入費	約100,000円	(教材等を含む)
学生会入会金・会費	9,000円	(入会金2,000円、会費年額7,000円)
後援会関係経費	入会金	10,000円
	卒業記念行事費	2,000円
	会費	24,000円
同窓会学生会員会費	15,000円	(入学時のみ)
日本スポーツ振興センター保護者負担金	年額 1,550円	
寮生のみ	寄宿料	半期分 4,800円 (年額9,600円)
	寮生保護者会費	年額 10,000円
	寮管理費	半期分 30,000円 (年額70,000円) R8後期は半期分40,000円
	寮生会費	年額 2,000円
	給食費	日額 1,460円 (月額：日額×給食日数) R8後期は1,680円
上履きスリッパ	1,800円	

※寝具リースを利用することもできます。[リース料(年額)：18,700円]

卒業生数

エネルギーコース	応用化学コース	環境生命コース	メカニクスコース	情報システムコース	建築コース	創造工学科合計
212	96	117	254	255	237	1,171

機械工学科	電気工学科	電子情報工学科	物質工学科 工業化学科	建築学科	卒業生総数
1,919	1,873	984	713 1,080	1,732	9,472

令和7年度卒業者の進路状況

区分		コース	エネルギーコース	応用化学コース	環境生命コース	メカニクスコース	情報システムコース	建築コース	計
卒業生数			42	12	12	46	48	37	197
就職希望者数			34	6	8	36	34	26	144
就職者数			34	6	8	36	34	26	144
進学者数			8	6	4	10	13	11	52
その他（含む自営業）			0	0	0	0	1	0	1
地域	県外		29	5	7	24	23	22	110
	県内		5	1	1	12	11	4	34
求人会社数			778	508		753	741	206	2,986
求人倍率			22.9	84.7	63.5	20.9	21.8	7.9	20.7

大学編入学・高専専攻科進学状況

大学等名	R3	R4	R5	R6	R7
有明高専専攻科	31	29	25	23	17
豊橋技術科学大学	6	8	8	3	7
長岡技術科学大学		1	2	4	1
九州大学	2		1	4	5
九州工業大学	7	3	5	3	2
佐賀大学	1	2		2	4
熊本大学	3	9	5	6	9
宮崎大学	1			1	
鹿児島大学	1	1	1	1	1
山口大学		1	1	1	
東京農工大学	1	2		1	
九州産業大学				1	
山口東京理科大学				1	
武蔵野美術大学				2	1
東京都市大学				1	
神戸芸術工科大学				1	

大学等名	R3	R4	R5	R6	R7
神戸大学			1		
福岡大学			1		
大分大学		2			
金沢工業大学		1			
大阪大学		1			
福山大学		1			
千葉大学	1				
東京工業大学	1				
東京海洋大学	1				
東京工芸大学					1
京都美術工芸大学					1
埼玉大学					1
筑波大学					1
島根大学					1
その他（専門学校）				1	

大学院進学状況

大学等名	R3	R4	R5	R6	R7
九州大学大学院	8	1	4	4	7
九州工業大学大学院		2	2	3	
宮崎大学大学院				1	
佐賀大学大学院	1		1	1	
鹿児島大学大学院				1	
東北大学大学院				1	

大学等名	R3	R4	R5	R6	R7
東京科学大学				1	
東京工業大学大学院			1		
熊本大学大学院			1		3
豊橋技術科学大学大学院			2		
熊本県立大学大学院					1

令和7年度就職状況一覧表

会社名	コース名	エネルギーコース	応用化学コース	環境生命コース	メカニクスコース	情報システムコース	建築コース	専攻科	合計
アイ・システム株式会社					1				1
旭化成株式会社		1						1	3
株式会社旭製作所					1				1
artience株式会社			1						1
アマゾンジャパン合同会社					1				1
有明電機工業株式会社		1							1
有明高専技術職員					1				1
株式会社有明ねっとこむ					1				1
株式会社RKKCS							1		1
いすゞエンジニアリング株式会社					1				1
一般財団法人日本品質保証機構					1				1
一般社団法人日本血液製剤機構				1					1
伊藤忠アーバンコミュニティ							1		1
インフォコムテクノロジー株式会社					1				1
株式会社VIALE							1		1
株式会社NHKテクノロジー		1							1
株式会社NTTデータ							1		1
株式会社エムジー		1							1
株式会社MJC							1		1
大阪ガスネットワーク株式会社					1				1
オクマ株式会社					1				1
株式会社オービシステム						1			1
オムロンフィールドエンジニアリング株式会社					1				1
花王株式会社			1						1
鹿島建設株式会社							2		2
関西電力株式会社		1							1
キャノン株式会社					1				1
キャノンマーケティングジャパン株式会社		1							1
キャノンメディカルシステムズ株式会社					1				1
九州電力株式会社		1							1
九電産業株式会社		1							1
Qsol株式会社						1			1
株式会社QTnet						1			1
京セラ株式会社(鹿児島)						1			1
京セラ株式会社鹿児島川内工場						1			1
麒麟麦酒株式会社						1			1
株式会社きんでん		1							1
株式会社クボタ		1							1
株式会社グローリア・ソリューションズ						1			2
KMアルミニウム株式会社							1		1
KMバイオロジクス株式会社		1	1						2
KDDIエンジニアリング株式会社						1			1
建築工業株式会社							1		1
国光施設工業株式会社		1							1
コニカミノルタジャパン株式会社		1							1
株式会社佐賀銀行							2		2
沢井製薬株式会社							1		1
サントリーホールディングス株式会社					1				1
株式会社S ANMA T S U		1							1
株式会社ジェイ・クリエーション							1		1
株式会社システムソフト						1			1
株式会社シティアスコム						1			1
芝浦機械株式会社							1		1
JFEプラントエング株式会社		1							1
清水建設株式会社							1		1
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing						1			1
昭栄化学工業株式会社		1							1
株式会社SUBARU						1			1
住友林業ホームエンジニアリング株式会社							1		1
住友林業ホームテック株式会社							1		1
西部電機株式会社							1		1
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社		1							1
株式会社ソフト九州								1	1
ダイキン工業株式会社		1							1
株式会社大建設							1		1
株式会社ダイコーテクノ									1
株式会社大電			1						1
大日精化工業株式会社		1							1
太陽工業株式会社									1
太陽日酸株式会社									1
タカハ機工株式会社									1

会社名	コース名	エネルギーコース	応用化学コース	環境生命コース	メカニクスコース	情報システムコース	建築コース	専攻科	合計
株式会社タケウチ建設							1		1
株式会社竹中工務店								1	1
株式会社中央エンジニアリング					1				1
中外製薬工業株式会社					1				1
中部電力株式会社		1							1
中菱エンジニアリング株式会社						1			1
株式会社TMEIC		1							1
DIC株式会社				1					1
デンカ株式会社		1							1
電源開発株式会社(J-POWER)		1							1
株式会社デンソー九州						1			1
デンソーテクノ株式会社						1			1
東亜建設工業株式会社							1		1
東京水道株式会社							1		1
東京電子株式会社		1							1
東レ建設株式会社							1		1
株式会社戸上電機製作所								1	1
戸田建設株式会社							1		1
トーテックアメニティ株式会社						1	1		2
TOPPANテクニカル・デザインセンター株式会社							1	1	2
富安建設							1		1
株式会社トヨタシステムズ						1			1
株式会社トヨタプロダクションエンジニアリング						1			1
西鉄情報システム株式会社							1		1
西日本高速道路ファシリティーズ株式会社							1		1
西日本電信電話株式会社		1							1
株式会社西日本シティ銀行		1							1
西日本旅客鉄道株式会社		3				1			4
西松建設株式会社							1		1
日清紡マイクロデバイス株式会社		1							1
日清紡マイクロデバイス A T 株式会社							1		1
日鉄ケミカル&マテリアル株式会社								1	1
日本アルゴリズム株式会社							1		1
日本環境アメニティ株式会社							1		1
日本精工九州株式会社							1		1
日本通信エンジニアリングサービス株式会社							1		1
パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション株式会社						1			1
パナソニックコネクト株式会社						1			1
久光製薬株式会社						1			1
平田機工株式会社		1							1
ピーエス・コンストラクション株式会社							1		1
株式会社BeeX							1		1
株式会社福岡銀行							1		1
福岡県庁								1	1
福岡国際空港株式会社							1		1
福岡市職員(初級,行政技術,電気)								1	1
富士電機株式会社		1							1
前田建設工業株式会社							1	1	2
株式会社牧野フライス製作所						1			1
丸善石油化学株式会社							1		1
株式会社ミズホメディー						1			1
三井化学株式会社大牟田工場									1
株式会社三井三池製作所九州事業所							1		1
三菱ガス化学株式会社		1							1
三菱ケミカルエンジニアリング株式会社							1		1
三菱地所コミュニティ株式会社							1		2
三菱電機株式会社電子通信システム製作所		1							1
三菱電機ビルソリューションズ株式会社							1		1
株式会社未来工房								1	1
メタウォーター株式会社		1					1		2
森永製菓株式会社							1		1
安川オートメーション・ドライブ株式会社							1		2
株式会社安川電機							1		1
ヤンマー建機株式会社							1		2
株式会社ユー・エス・イー							1		1
株式会社横河ブリッジ								3	3
株式会社ラック							1		1
リンク情報システム株式会社							1		1
レンゴー株式会社		1							1
ローム・アポロ株式会社							1		1
合計		34	6	8	36	34	26	15	159

区分		所在地	福岡県大牟田市	熊本県荒尾市	合 計
土地 (㎡)	校 舎 地 区		83,125		83,125
	寄 宿 舎 地 区			23,339	23,339
	職 員 宿 舎 敷 地		8,061	4,939	13,000
	合 計		91,186	28,278	119,464
建物 (延面積) (㎡)	校 舎 等		25,500		25,500
	寄 宿 舎 等			6,886	6,886
	職 員 宿 舎	戸 数 (戸)	13	16	29
		面 積	729	972	1,701
	合 計		26,229	7,858	34,087

校舎等建物明細

棟 別	構 造 ^{※1}	延面積 (㎡)
校 舎 地 区		
管 理 棟	RC2	832
学 生 課 棟	RC1	140
図 書 館	RC3	1,565
情 報 処 理 セ ン タ ー	RC3	413
一 般 教 育 北 棟	RC3	2,506
一 般 教 育 南 棟	RC3	1,305
共 通 専 門 棟	RC3	259
1 号 棟	RC3	1,625
2 号 棟	S2	547
3 号 棟	RC3	1,484
4 号 棟	RC3	1,484
5 号 棟	RC2	869
6 号 棟	RC5	2,224
総 合 研 究 棟	S4	1,602
合 同 教 育 北 棟	RC3	513
合 同 教 育 南 棟	RC3	602
実 習 工 場 棟	RC1・S1	1,770 ^{※2}
共 同 研 究 棟	S1	350
福 利 施 設 棟	RC2	888
第 1 体 育 館	S1	1,075
第 2 体 育 館	S1	908
武 道 場	S1	324
開 発 研 究 棟	RC2	263
サ ー ク ル 室	RC1	168
文 化 系 サ ー ク ル 棟	W1	130
そ の 他	RC1・S	1,654
小 計		25,500
寄 宿 舎 地 区		
若 葉 棟	RC3	1,338
紅 葉 棟	RC4	1,783
銀 杏 棟	RC3	1,258
桜 棟	RC4	1,786
食 堂 棟 (浴 室)	RC1	686
そ の 他	RC1	15
小 計		6,866
合 計		32,386
野 外 体 育 施 設 (校 舎 地 区)		
陸 上 競 技 場	400mトラックコース	
野 球 場	1面 (7,441㎡)	
フ ー ル 場	25m (7コース)	
弓 道 場	3人立	
ハ ン ド ボ ー ル コ ー ト	2面 (3,156㎡)	
テ ニ ス コ ー ト	5面 (3,790㎡)	

※1 RC:鉄筋コンクリート、S:鉄骨、W:木造、数字は階数

※2 機械工学科実験室808㎡を含む

施設配置図



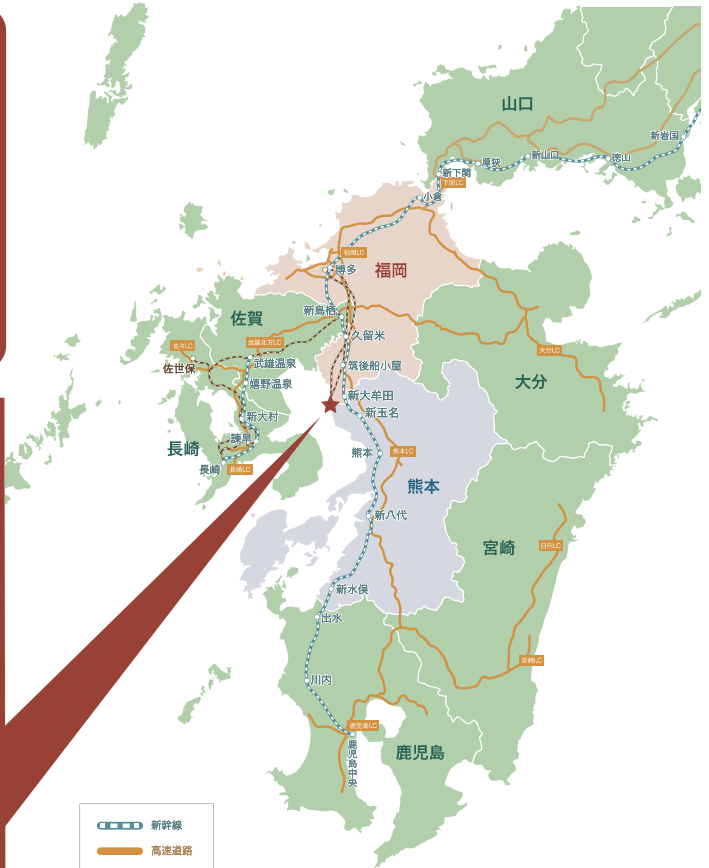
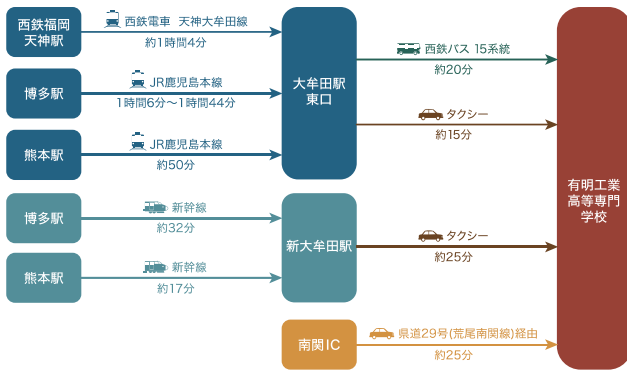
校舎



寄宿舍



アクセスマップ、連絡先



連絡先

独立行政法人国立高等専門学校機構
有明工業高等専門学校

所在地 校舎地区 〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町150
 寄宿舎地区 〒864-0011 熊本県荒尾市下井手2
 e-mail www-admin@ariake-nct.ac.jp
 URL <https://www.ariake-nct.ac.jp/>

- 総務課
TEL 0944-53-8611 (FAX 0944-53-1361)
- エネルギーコース
TEL 0944-53-8867 (FAX兼用)
- 学生課
TEL 0944-53-8622 (FAX 0944-53-8862)
- 応用化学コース/環境生命コース
TEL 0944-53-8869 (FAX兼用)
- 図書館
TEL 0944-53-8613 (FAX兼用)
- メカニクスコース
TEL 0944-53-8865 (FAX兼用)
- 学生相談室
TEL 0944-53-8657
- 情報システムコース
TEL 0944-53-8873 (FAX兼用)
- 寄宿舎
TEL 0944-53-8630 (FAX兼用)
- 建築コース
TEL 0944-53-8871 (FAX兼用)
- 一般教育科
TEL 0944-53-8876 (FAX兼用)

